

令和7年度 第1回 宮崎県交通渋滞対策協議会

目次

1. 宮崎県交通渋滞対策協議会のこれまでの経緯	1
2. 主要渋滞箇所の特定期間解除	14
3. 渋滞対策の取り組み状況	35
4. 複数の管理者の協働による渋滞対策	48
5. 都城道路の開通による交通影響(速報)	50
6. 県北地域における観光渋滞対策の対応状況	56
7. 今後の進め方	57

令和7年7月31日

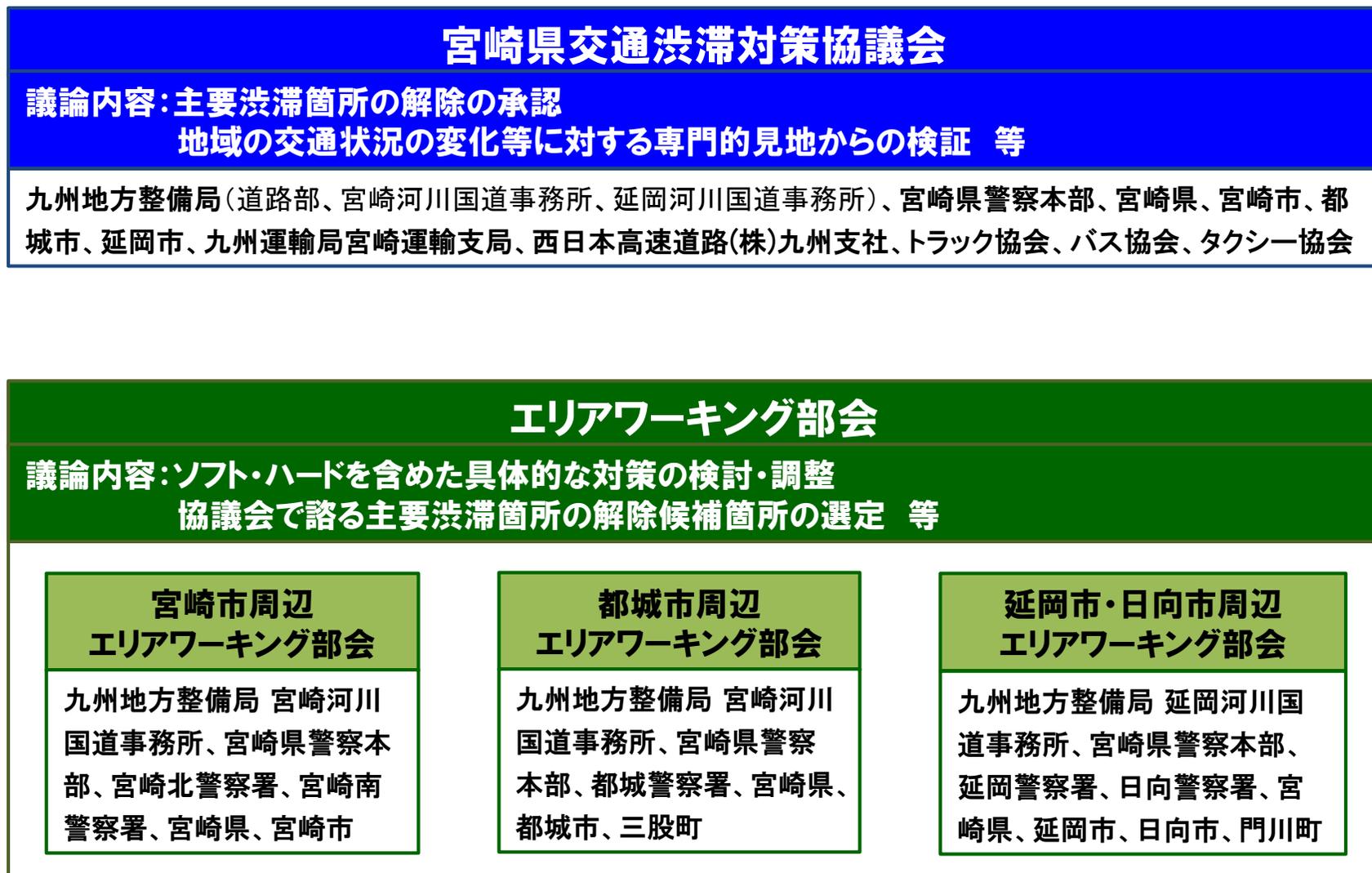
1. 宮崎県交通渋滞対策協議会のこれまでの経緯

(1)目的と位置付け

■宮崎県交通渋滞対策協議会の目的・位置付け

○宮崎県交通渋滞対策協議会は宮崎県における交通渋滞状況を把握し、渋滞解消を図るために、関係機関が一体となって交通渋滞対策を推進することを目的として設立された組織である。

<組織体制>



意見交換・
方針の決定

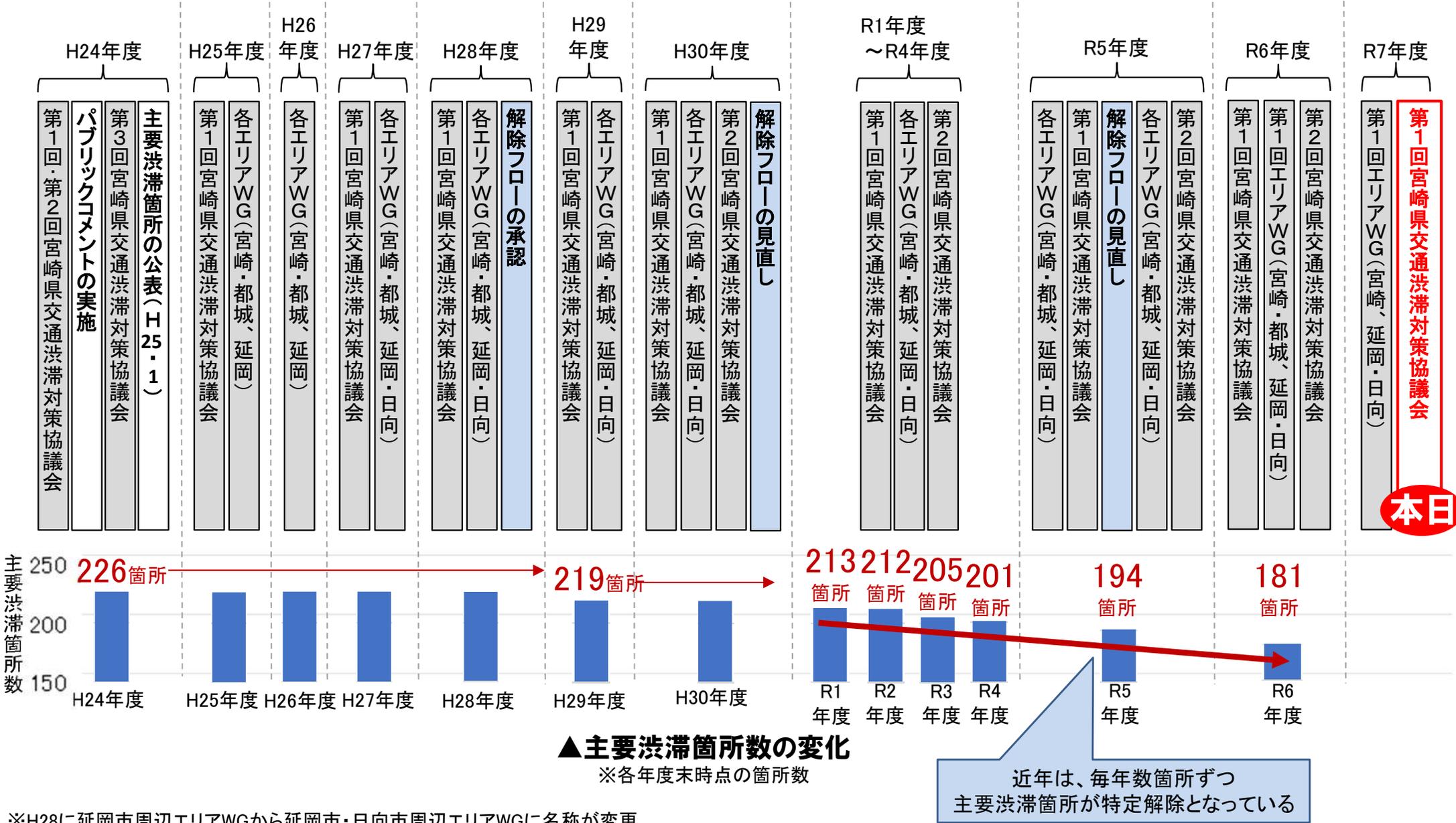
各関係機関で
連携して
議論・調整

1. 宮崎県交通渋滞対策協議会のこれまでの経緯

(2) 活動履歴と主要渋滞箇所数の変化

■ 宮崎県交通渋滞対策協議会の活動履歴と主要渋滞箇所数の変化

- H24年度に主要渋滞箇所が公表されて以降、継続的に協議会やエリアWGを開催し、主要渋滞箇所のモニタリング等を実施。
- 主要渋滞箇所数は、選定時の226箇所からR6年度までに45箇所が解除となり、現在は181箇所となっている。



※H28に延岡市周辺エリアWGから延岡市・日向市周辺エリアWGに名称が変更

第1回宮崎県交通渋滞対策協議会
本日

1. 宮崎県交通渋滞対策協議会のこれまでの経緯

(2) 活動履歴と主要渋滞箇所数の変化

■宮崎県の主要渋滞箇所(一般道)

- 主要渋滞箇所数は、選定時の226箇所からR6年度までに45箇所が解除となった。
- 対策済8箇所と未対策173箇所の計181箇所について、今後対策の検討・モニタリングを行う。

<宮崎県の主要渋滞箇所(一般道)の整理>

エリア	公表時 (H25.1)	最新(R7.4)			解除済 箇所 (R7.4)	
		対策済 箇所	未対策箇所 ※対策中・対策 案検討中箇所	計		
県南	宮崎市 周辺エリア	134	7	105	112	22
	都城市 周辺エリア	37	0	35	35	2
	その他市町	10	0	5	5	5
県北	延岡市・ 日向市 周辺エリア	45	1	28	29	16
合計		226	8	173	181	45

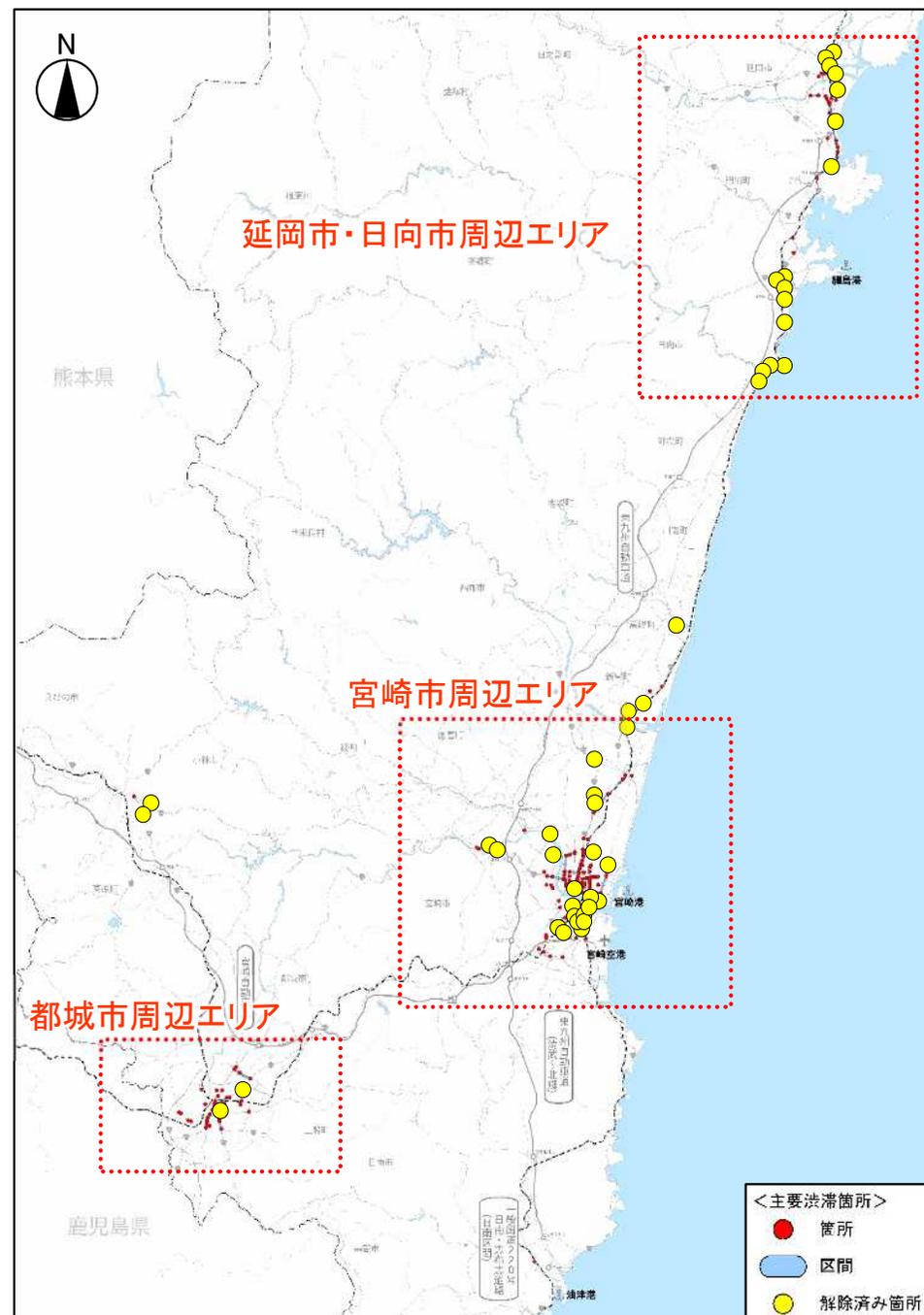


図 解除済み箇所(R7.4時点)

■宮崎県全体

1. 宮崎県の概況

	概要
宮崎県の概況	①宮崎県は、南北に長い地理的特徴があり、東九州自動車道や国道10号、国道220号等が、広域的な交通を支えている。
	②他県に比べて、自動車の保有率が高く、自動車への依存度が高い地域となっている。 (人口千人当たりの自動車保有台数は全国7位(※R7.2時点))
	③宮崎市、都城市、延岡市が県内主要都市であり、各市中心部向けに交通が集中することで交通渋滞が発生している。主要渋滞箇所の約9割が3市に集中している。 (170/181箇所 ※R7.4時点)



図 宮崎県の概況

2. 渋滞対策の基本方針 ※事務局案

道路交通の現状や課題を踏まえた上で、バイパス整備、現道拡幅、交差点改良、ソフト(TDM)施策など渋滞解消に関わる『交通施策全般のあり方』を今後、検討する。

《検討の視点》

【中・長期】交通流動に大きな影響を与える渋滞対策(概ね5年以上)

道路の交通容量拡大や速達性向上に寄与するバイパス整備・現道拡幅、市中心部から通過交通を排除する環状道路の整備と交通誘導、対策効果の高い交差点改良(必要に応じて用地取得)、公共交通への転換を促す総合的なソフト対策 等

【短期】即効性のある渋滞対策(概ね5年未満)

道路用地内での簡易な渋滞対策(例:右左折レーンの設置・延伸)や、早期に対応可能なソフト施策(経路誘導等) 等

■宮崎市周辺エリア

3. 現在の渋滞対策

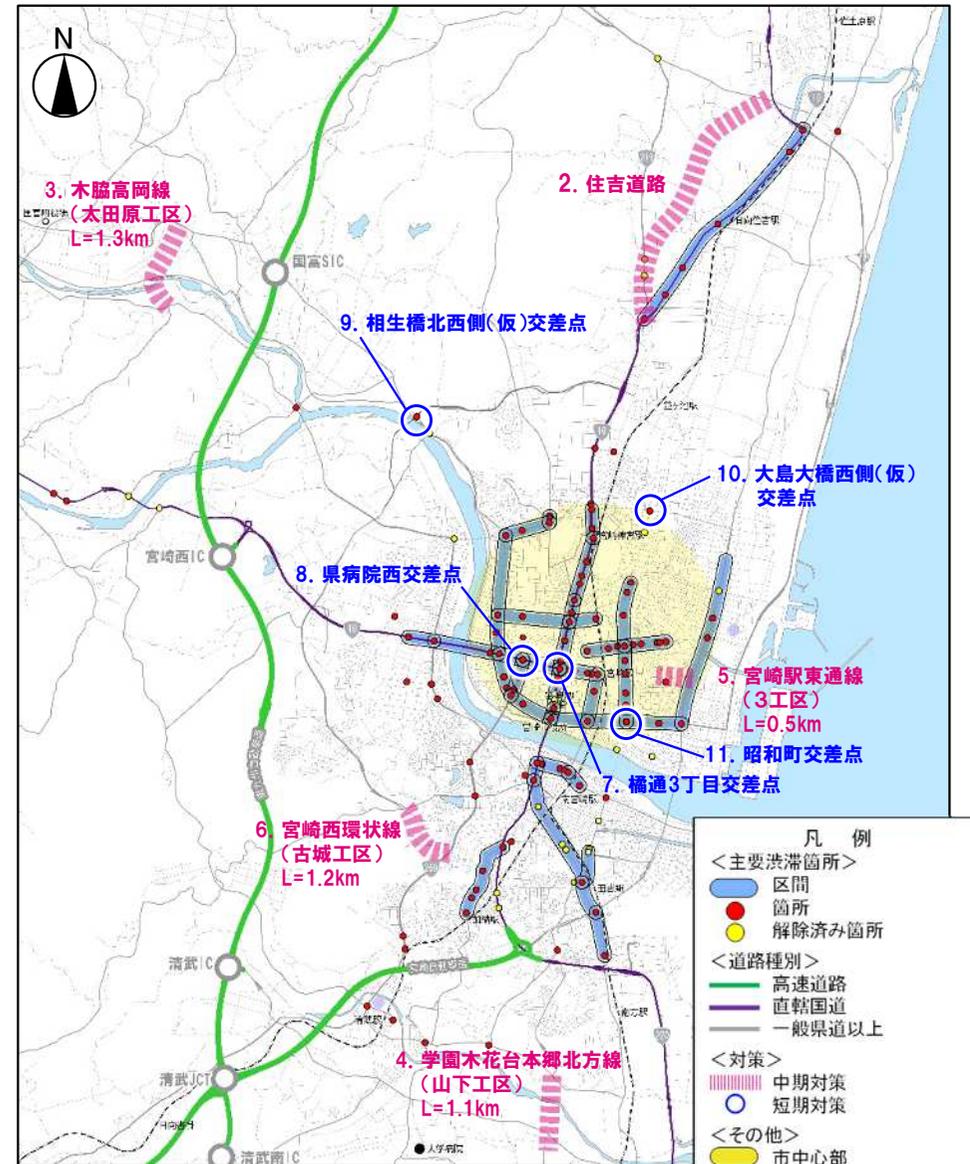
市中心部へのアクセス軸の交通容量拡大や市中心部の通過交通排除のための環状道路整備(中期)、ボトルネック解消のための交差点改良(短期)を推進中

区分	No.	事業	事業主体	ページ
中期対策	1	新富バイパス(三納代地区)	国	—
	2	住吉道路	国	—
	3	木脇高岡線(太田原工区)	県	—
	4	学園木花台本郷北方線(山下工区)	県	—
	5	宮崎駅東通線(3工区)	市	—
	6	宮崎西環状線(古城工区)	県	—
短期対策	7	橘通3丁目交差点における交差点改良	国	37
	8	県病院西交差点における交差点改良	国	38
	9	相生橋北西側(仮)交差点における交差点改良	県	42
	10	大島大橋西側(仮)交差点における信号現示の調整	市	43
	11	昭和町交差点における交差点改良	県	45

<その他(新富町)>



<宮崎市周辺エリア>

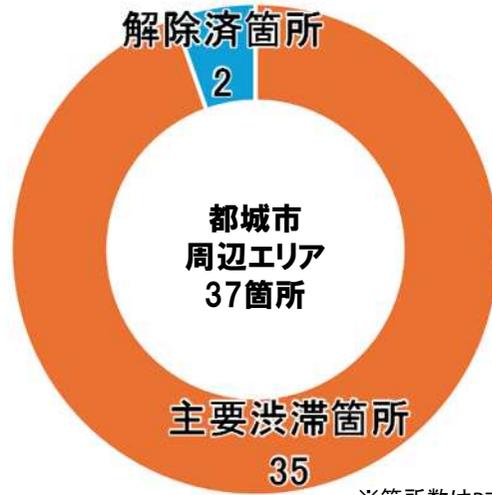


■都城市周辺エリア

1. 都城市周辺エリアの概況

	概要
都城市周辺エリアの概況	①都城市は、県内第2位の人口規模をもつ都市である。 ②市中心部を南北に国道10号が通過し、周辺に内環状線、中環状線、外環状線が形成されている ③市中心部の中央を通過する国道10号には、アクセス交通や通過交通が通行することで渋滞が発生(主要渋滞箇所が多数存在)する。 ④環状道路や放射道路となる国道269号、国道222号、県道31号線等にも交通が集中することで渋滞が発生(主要渋滞箇所が存在)する。

2. 都城市の主要渋滞箇所数



※箇所数はR7.4末時点
 ※対象市町: 都城市、三股町

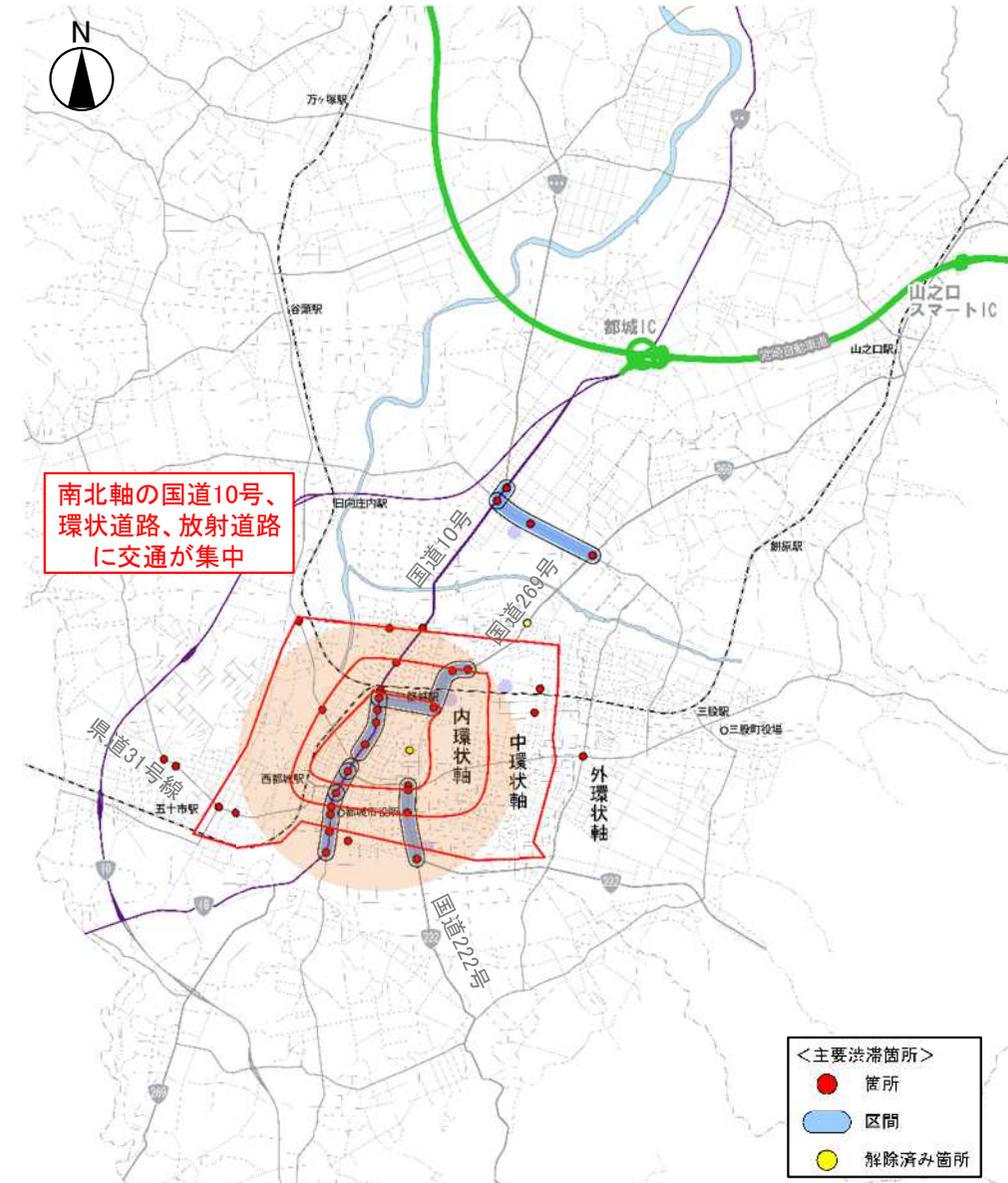


図 都城市エリアの概況と主要渋滞箇所の位置図

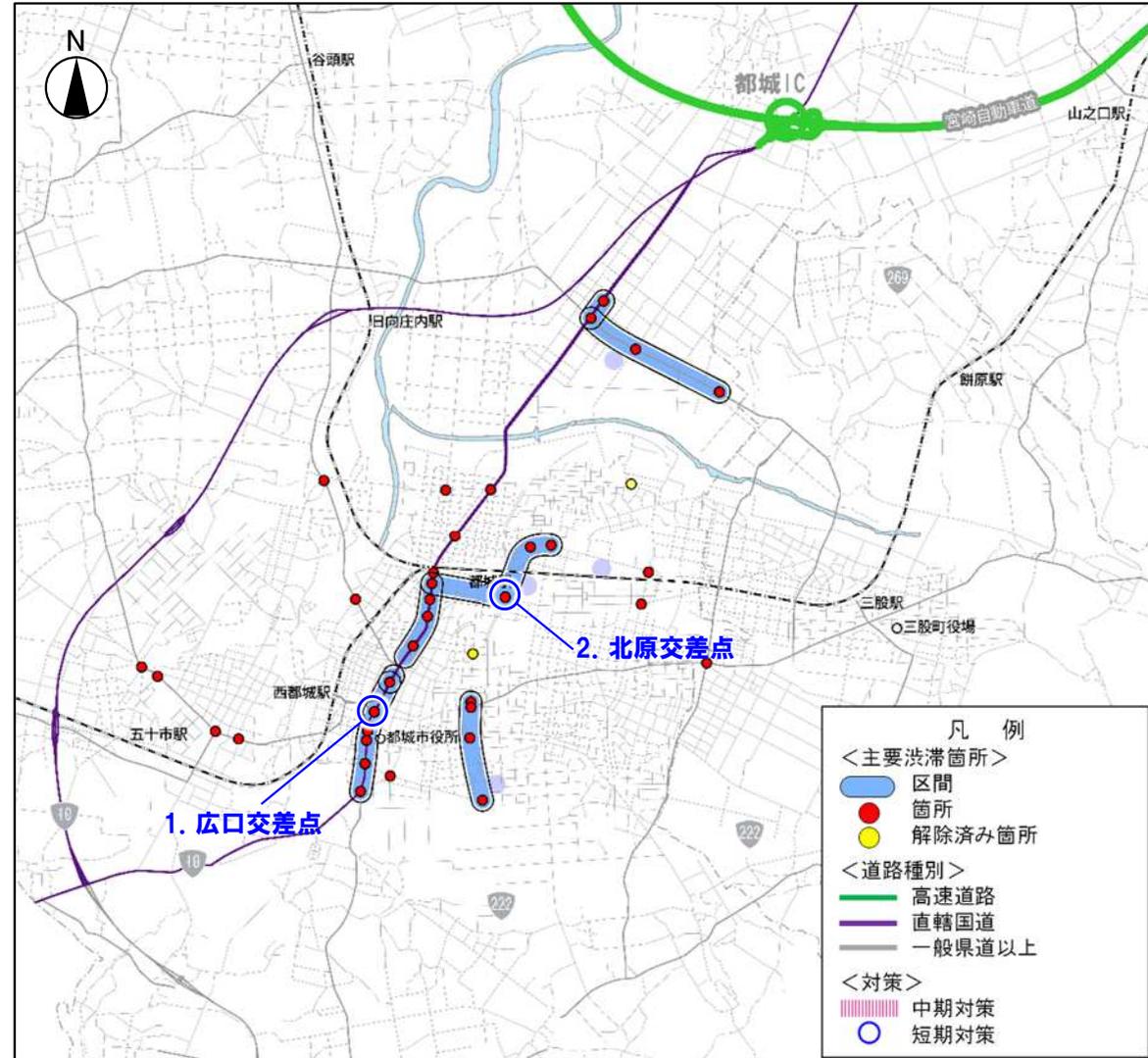
■都城市周辺エリア

3. 現在の渋滞対策

市中心部へのアクセス軸の交通容量拡大(中期)、ボトルネック解消のための交差点改良(短期)を推進中

区分	No.	事業	事業主体	ページ
対短期	1	広口交差点における交差点改良	国	39
	2	北原交差点における交差点改良	県	44

<都城市周辺エリア>

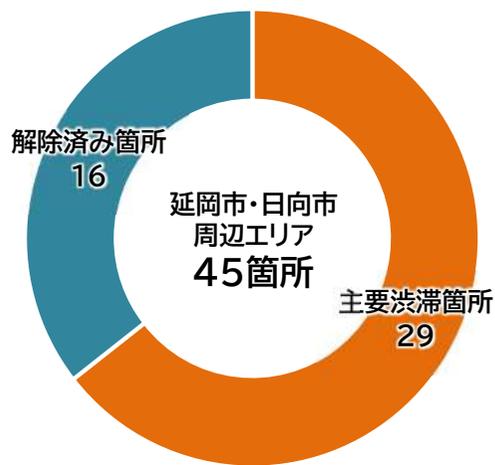


■延岡市・日向市周辺エリア

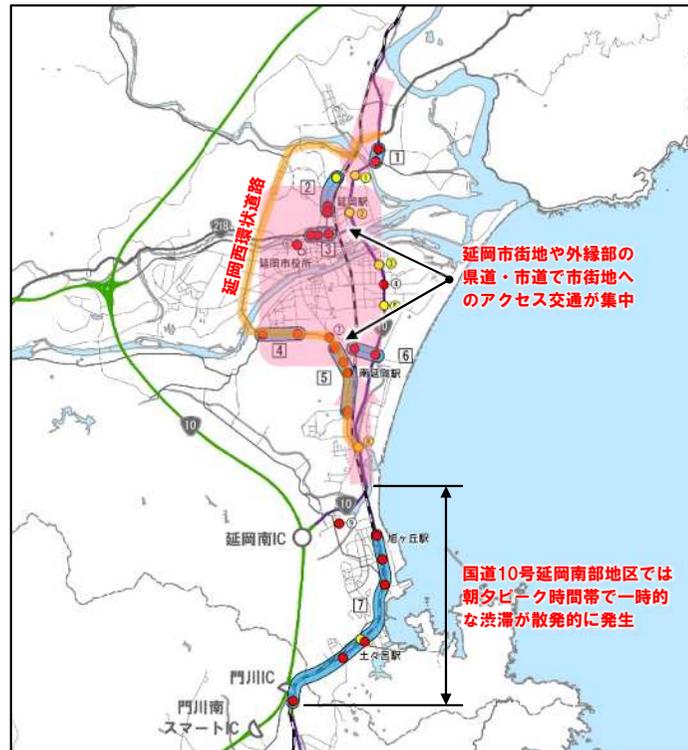
1. 延岡市・日向市周辺エリアの概況

	概要
延岡市・日向市周辺エリアの概況	<p>①延岡市・日向市周辺は、宮崎県北地域の中心都市である事に加え、多くの工場群が立地し重要港湾「細島港」を擁する県内屈指の工業都市である。</p> <p>②市中心部を南北に国道10号が通過し、国道と並行して一般県道が存する他、延岡西環状道路が形成されている</p> <p>③延岡市を通過する国道10号のうち、延岡南部地区では朝夕ピーク時間帯で一時的な渋滞が散発的に発生する。</p> <p>④延岡市街地および外縁部の県道・市道等において、中心市街地へアクセスする交通が集中し渋滞が発生(主要渋滞箇所が多数存在)する。</p>

2. 延岡市・日向市周辺の主要渋滞箇所数



※箇所数はR7.4時点

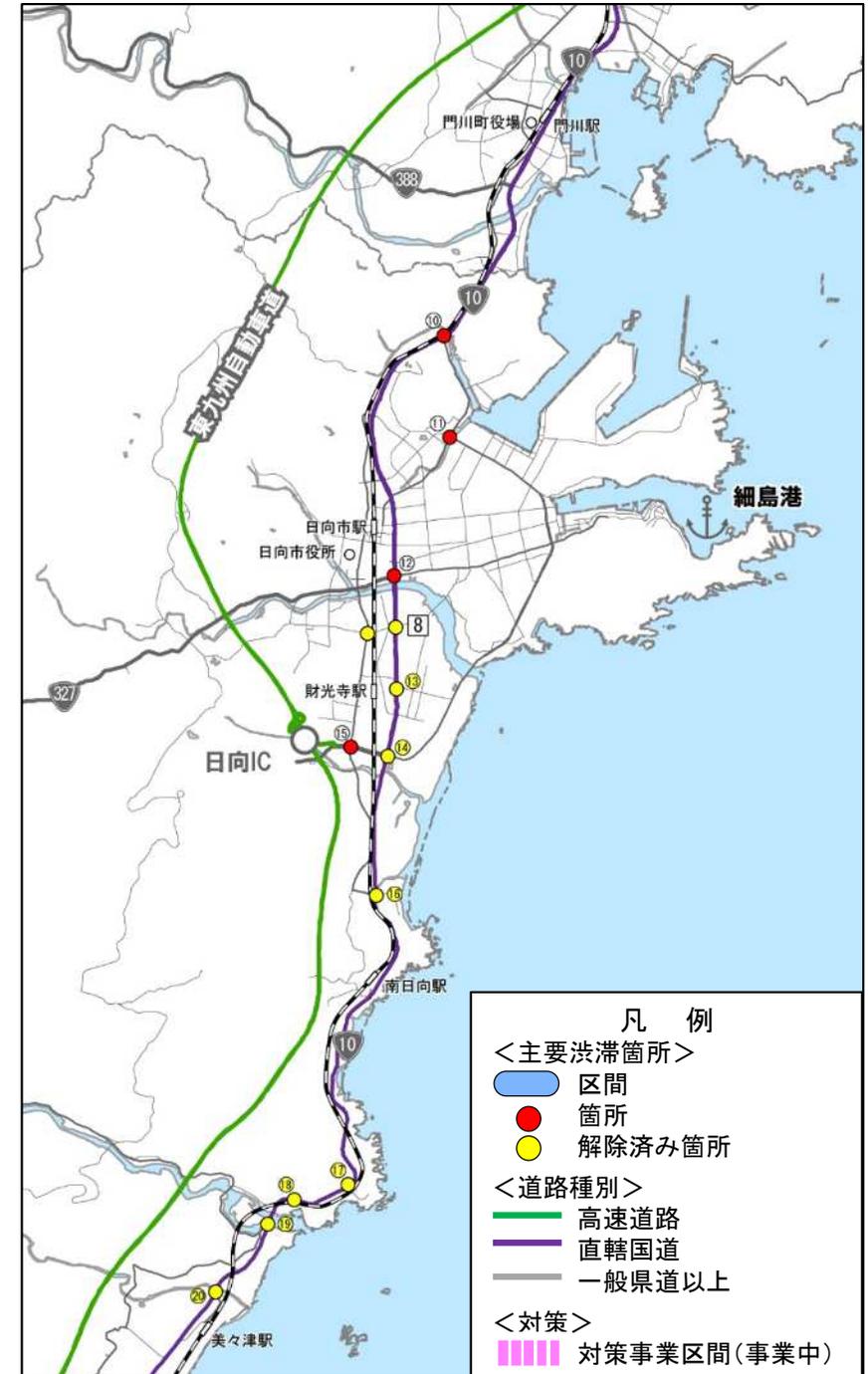


■延岡市・日向市周辺エリア

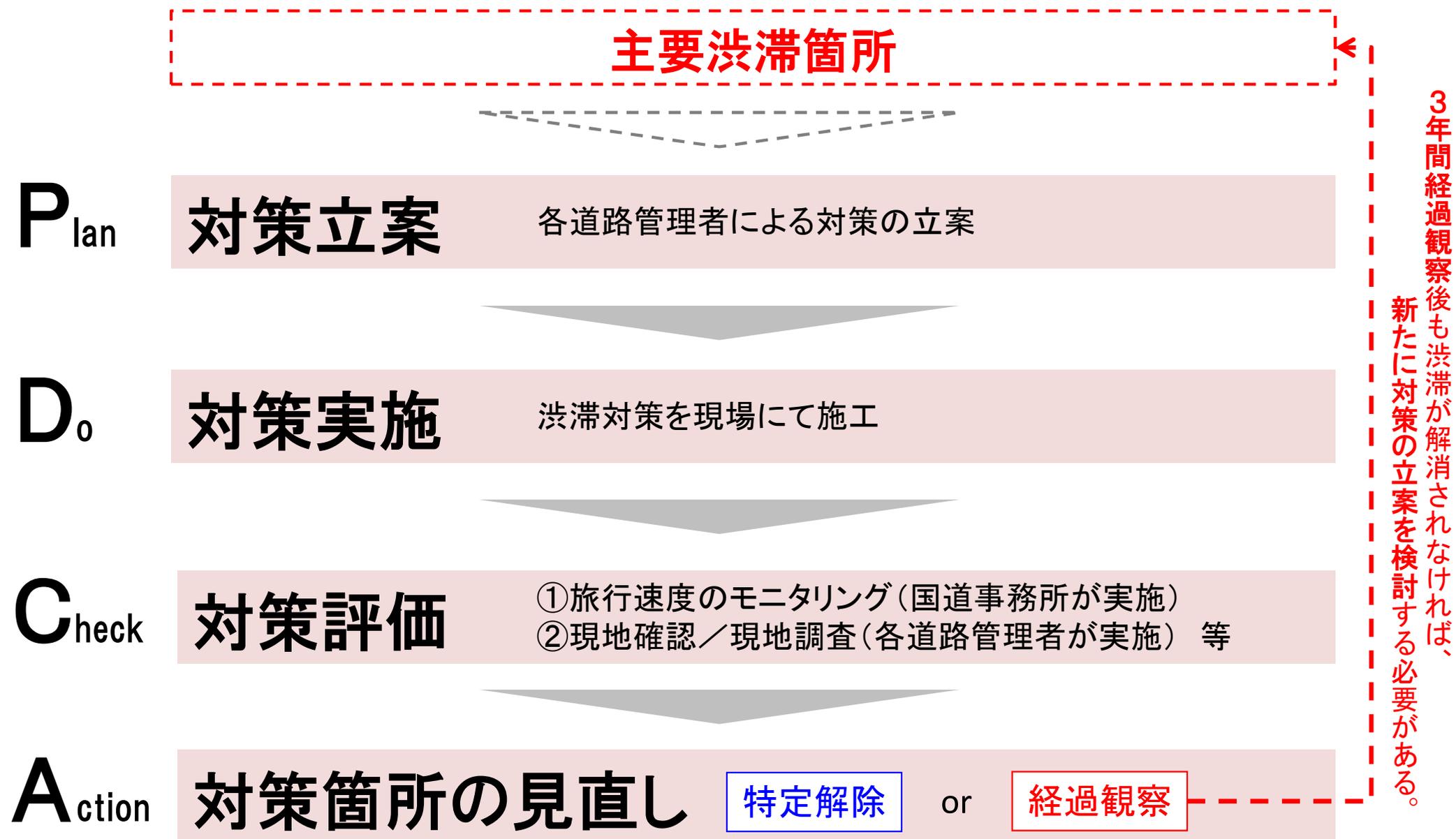
3. 現在の渋滞対策

市中心部へのアクセス軸の交通容量拡大(中期)を推進中

区分	No.	事業	事業主体	ページ
中期対策	1	稲葉崎平原線(構口工区)	県	46
	2	稲葉崎平原線(平原工区)		



OPDCAサイクルを回すことで渋滞対策を推進し、主要渋滞箇所の早期特定解除を目指す。



■渋滞対策マネジメントサイクルの年間スケジュールイメージ

○渋滞対策の立案から対策後の評価・見直しまでを下図の流れで実施し、協議会・エリアWGにおいて対策の立案状況や施工後の交通状況等の報告を行う。

<主要渋滞箇所に対するPDCAサイクルの流れ>

年度	N 年度			N+1 年度			N+2 年度			N+3 年度			N+4 年度			N+6年度																																	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
渋滞協・エリアWG				第1回 渋滞協			エリア WG			第2回 渋滞協						第1回 渋滞協			エリア WG			第2回 渋滞協						第1回 渋滞協			エリア WG			第2回 渋滞協															
本協議会の位置付け				渋滞対策の取り組み状況の報告 (P35~47)									主要渋滞箇所の特定解除の可否を判断 (P14~34)																																				
実施内容	P:対策立案 ・各道路管理者による渋滞対策の立案			予算確保 可能ならD:対策実施			D:対策実施 ・渋滞対策の施工 ・整備効果の把握			効果検証に必要なデータの収集			C:対策評価 A:対策箇所の見直し ・渋滞対策の効果検証 ・現地確認/現地調査																																				
主要渋滞箇所の分類	対策未検討箇所 →			対策検討済箇所(対策案あり)									対策済箇所 ↓ 特定解除			対策未検討箇所(再)																																	

3年間経過観察後も特定解除(渋滞が解消)されなければ、「対策未検討箇所(再)」として、新たに対策の立案を検討する。
(宮崎県ルール)

令和6年度 第1回宮崎県交通渋滞対策協議会(R6.9.11)の議事概要

- 主要渋滞箇所194箇所のうち、**13箇所(妻ヶ丘(仮)交差点、レッドバロン前(仮)交差点、月見が丘6丁目(仮)、高岡町宮水流西側(仮)交差点、高鍋高校入口交差点、中川原町3交差点、日の出町交差点、浜砂1(仮)交差点、平原町交差点、長江交差点、中の原交差点、お倉ヶ浜交差点、土々呂5交差点)で特定解除**を行った。
- 渋滞対策の取り組み状況について、今年度実施中の渋滞対策、完了した渋滞対策、中長期対策を共有した。
- 東九州自動車道・清武南IC～日南北郷ICの開通に伴う交通状況の変化について、開通1年後までの速度変化を共有した。
- 令和6年度ゴールデンウィークの交通状況について、県内で特に混雑が見られたエリア(国道218号 馬門交差点付近)を共有した。

令和6年度 第2回宮崎県交通渋滞対策協議会(R7.2.26)の議事概要

- 官民連携によるピンポイント対策や、次年度以降の渋滞対策案、今年度実施中の渋滞対策について、各道路管理者より取り組み状況を報告した。
- 渋滞協委員から解除フローにおける『渋滞無』箇所として、淀川3丁目(仮)交差点が提案された。
- 高松橋の交通規制に伴う交通状況の変化について速報値を共有し、今後のスケジュールを共有した。
- 県北地域における課題箇所の分析状況について報告した。

本協議会の主な議事内容

○主要渋滞箇所の特定解除【Check: 対策評価、Action: 対策箇所の見直し】

ポイント ・主要渋滞箇所の解除フローに基づき、旅行速度や現地調査結果等を踏まえ、解除候補箇所の解除可否を審議

○渋滞対策の取り組み状況【Plan: 対策立案、Do: 対策実施】

ポイント ・各道路管理者が計画・実施している渋滞対策を報告

○複数の管理者の協働による渋滞対策

ポイント ・複数の管理者が協働して実施する渋滞対策(ソフト対策)について議論

○都城道路の開通による交通影響(速報)

ポイント ・R7.3の都城志布志道路の開通前後における、都城市中心部の交通影響の分析結果(速報)を共有

○県北地域における観光渋滞対策の対応状況

ポイント ・国道218号における観光渋滞対策の検討内容を報告

2. 主要渋滞箇所の特定解除

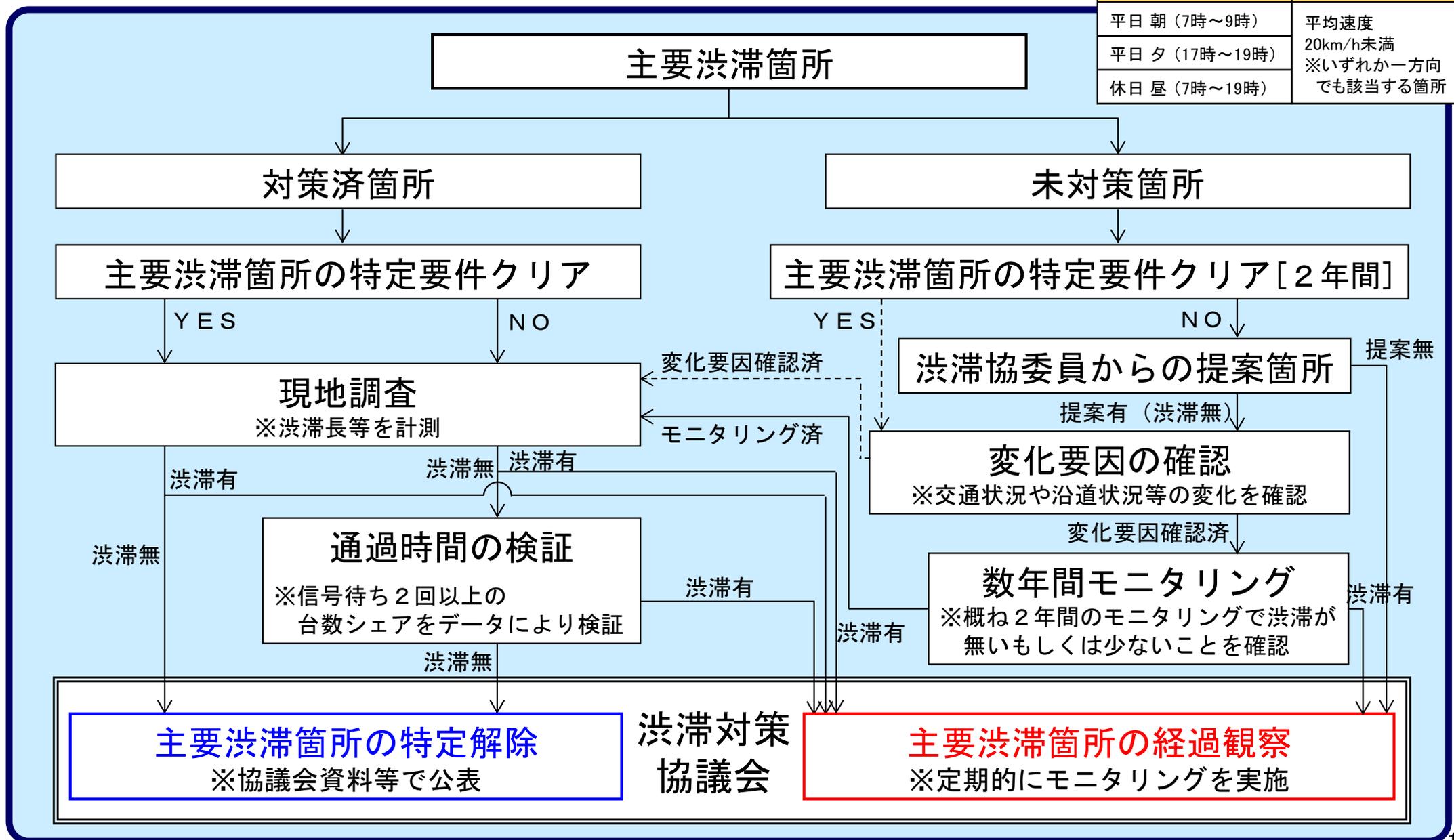
Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

■ 主要渋滞箇所(一般道)の解除手順

○最新のデータや現地状況等を確認し、各箇所毎に協議会で判断して解除を行う。

▼主要渋滞箇所(一般道)の特定要件

曜日・時間帯	特定要件
平日 朝 (7時~9時)	平均速度 20km/h未満 ※いずれか一方 でも該当する箇所
平日 夕 (17時~19時)	
休日 昼 (7時~19時)	



2. 主要渋滞箇所の特定解除

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

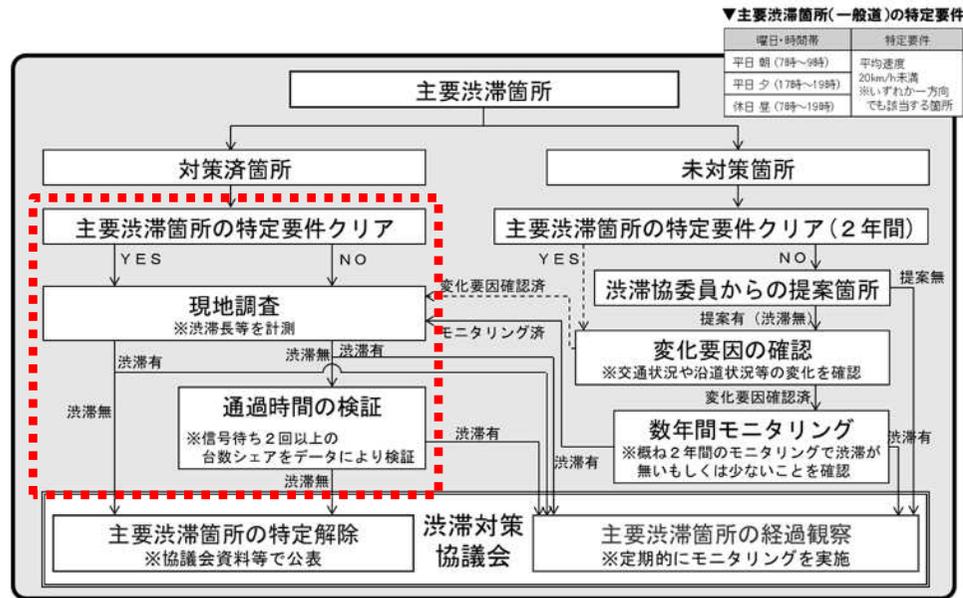
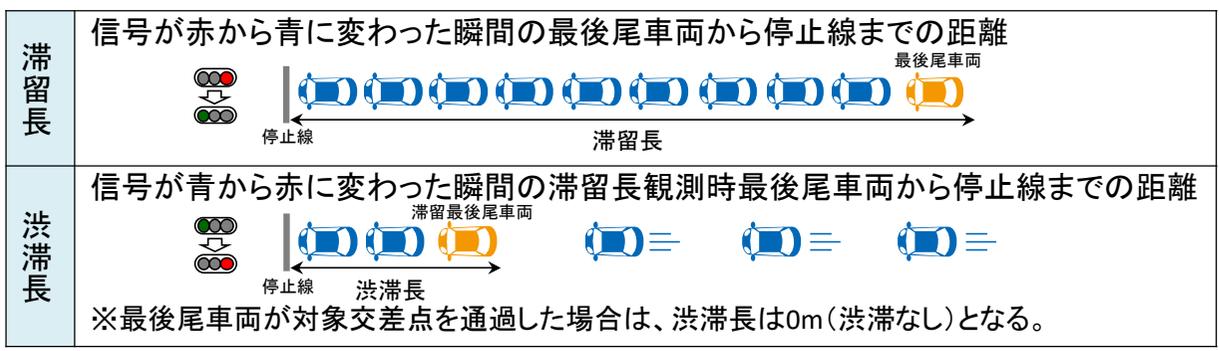
参考) 解除手順の具体的な内容

【主要渋滞箇所の特定要件クリア】

○平均旅行速度が20km/h以上となっているかを確認※する。
※確認の対象とする時間帯は、平日朝(7-9時)、平日夕(17-19時)、休日昼(7-19時)

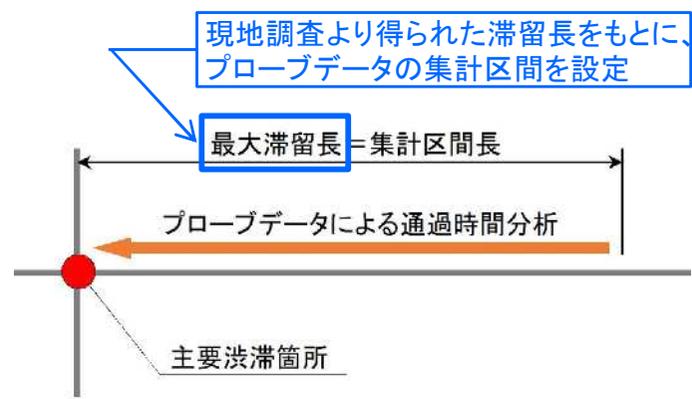
【現地調査】

○「滞留長」「渋滞長」等を計測し、渋滞の有無を判断する。



【通過時間の検証】

○過去1年間のプローブデータを用いて、交差点を通過するのに信号待ち2回以上となった車両の有無を検証する。



【5%の根拠】
交通状況が通常と著しく異なると考えられる日の割合は、年末年始・GW・お盆・イベント時など年間約18日程度とすると、
 $18日 \div 365日 = 4.9\%$
⇒約5%は特異値が含まれる可能性がある。

⇒信号待ち2回以上となる車両台数が5%未満であれば、年間を通して「渋滞無」と判断する。

2. 主要渋滞箇所の特定解除

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

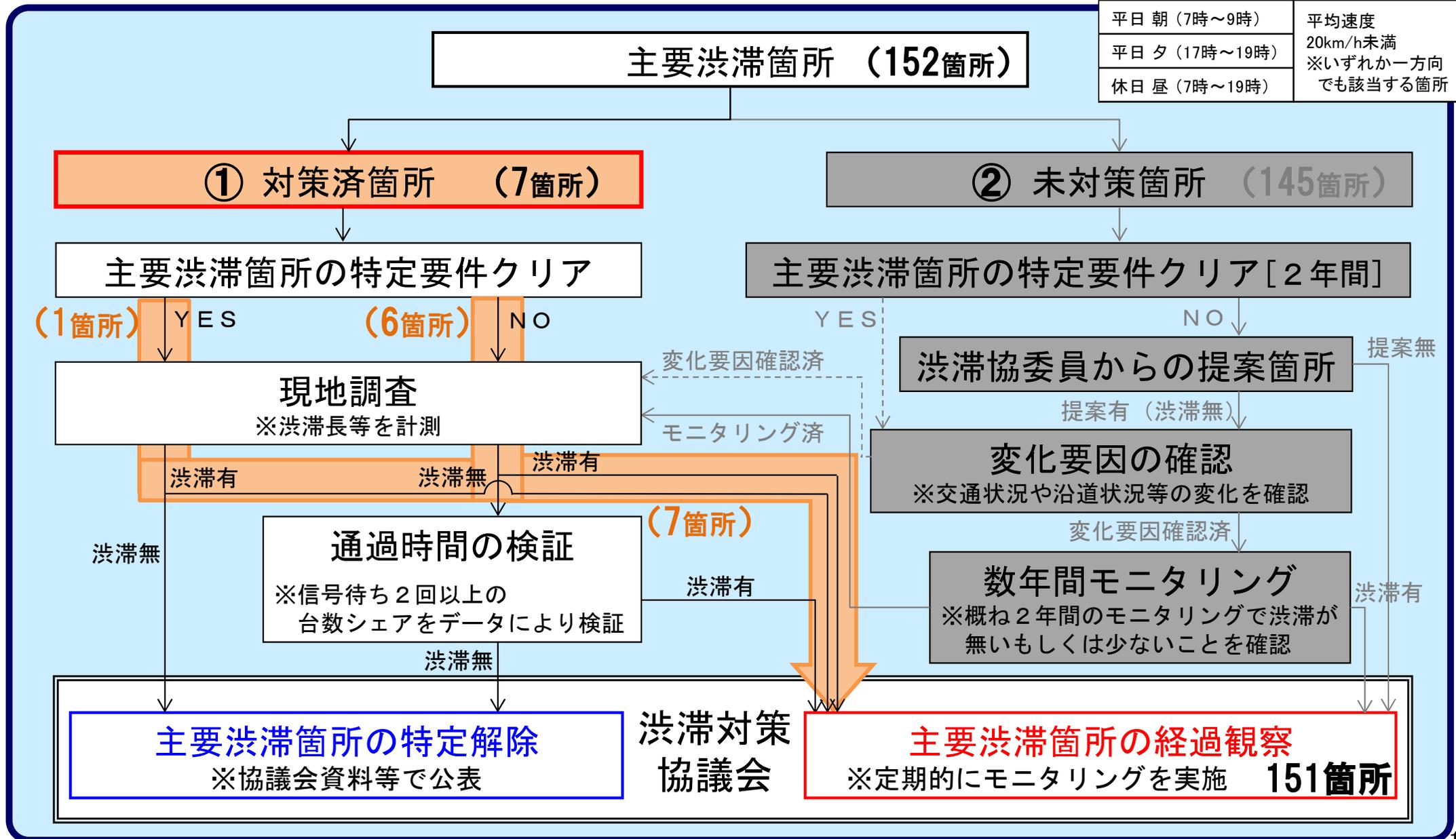
県南エリア

■ 対策済箇所の解除手順の検討結果

○対策済箇所7箇所について、解除フローに従い、最新のデータや現地状況等を確認。

▼主要渋滞箇所(一般道)の特定要件

曜日・時間帯	特定要件
平日 朝 (7時~9時)	平均速度 20km/h未満 ※いずれか一方 でも該当する箇所
平日 夕 (17時~19時)	
休日 昼 (7時~19時)	



2. 主要渋滞箇所の特定解除

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県南エリア

①-1. 県南エリアの対策済箇所一覧(7箇所)

- 県南エリアの主要渋滞箇所152箇所のうち、対策済箇所は以下の7箇所である。
○令和7年度から評価(モニタリング)対象となった箇所は、住吉、宮崎銀行住吉支店前(仮)、佐土原町原口、新名爪(仮)、新名爪、佐土原町片瀬原の6箇所。

No.	主要渋滞箇所	市町村	事業主体	対策事業	整備時期	モニタリング開始年度
1.	源藤	宮崎市	国	源藤～新横町交差点改良 東九州道清武南IC～日南北郷IC	R4. 8 R5. 3	R6
2.	住吉	宮崎市	国	(市) 芳士四本松線	R5. 4	R7
3.	宮崎銀行住吉支店前(仮)	宮崎市	国	(市) 芳士四本松線	R5. 4	R7
4.	佐土原町原口	宮崎市	国	(市) 芳士四本松線	R5. 4	R7
5.	新名爪(仮)	宮崎市	国	(市) 芳士四本松線	R5. 4	R7
6.	新名爪	宮崎市	国	(市) 芳士四本松線	R5. 4	R7
7.	佐土原町片瀬原	宮崎市	国	(市) 芳士四本松線	R5. 4	R7

: R7年度から新たにモニタリング開始となった箇所

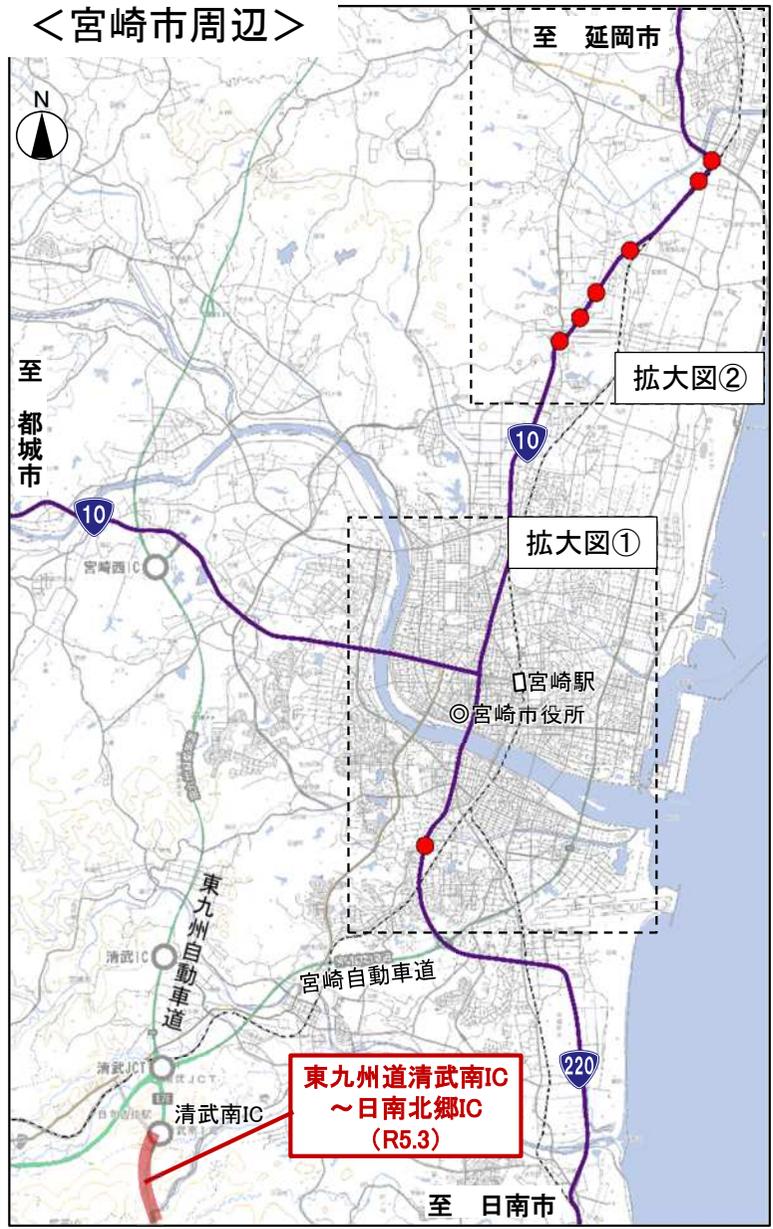
2. 主要渋滞箇所の特定解除

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県南エリア

①-2. 対策済箇所および対策事業の位置図

○対策済箇所7箇所とその対策事業の位置は下記のとおり。
 ○R7年度から新たに評価の対象となった渋滞対策は、(市)芳士四本松線である。



凡例

<p>＜主要渋滞箇所＞</p> <p>● : 対策済箇所</p>	<p>＜対策＞</p> <p>□ : H25.1～R5.3に完了した対策名</p> <p>■ : 新たに(R5.4～R6.3)完了した対策名</p> <p>—○ : H25.1～R6.3に完了した対策箇所</p>	<p>＜道路種別＞</p> <p>— : 高速道路</p> <p>— : 直轄国道</p> <p>— : 一般国道</p> <p>— : その他道路</p>
----------------------------------	--	--

2. 主要渋滞箇所の特定解除

【審議事項】

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県南エリア

①-3. 県南エリアにおける対策済箇所(7箇所)の特定解除の検討結果

○対策済箇所(7箇所)の特定解除の検討結果一覧を以下に示す。

<対策済の主要渋滞箇所における特定解除の検討結果>

データ: 選定時(H24.4~H24.8 プローブデータ)、最新(R6.4~R7.3 ETC2.0プローブ情報)

No.	エリア	主要渋滞箇所	渋滞対策	整備時期	モニタリング開始年度	流入方向	路線名	旅行速度(km/h)						特定要件クリア	現地調査	通過時間の検証	解除候補
								選定時			最新						
								平日朝ピーク	平日夕ピーク	休日昼間12H	平日朝ピーク	平日夕ピーク	休日昼間12H				
1.	宮崎市	源藤	源藤~新横町交差点改良 東九州道清武南IC~日南北郷IC	R4.8 R5.3	R6	北	国220	18.2	14.1	16.2	13.8	13.5	16.5	NO	渋滞有		—
						西	主27	15.8	17.4	17.0	17.9	16.0	16.6				
						東	市道等	4.2	2.9	2.8	6.9	6.0	6.6				
						南	国220	17.0	16.6	21.5	16.6	18.0	17.0				
2.	宮崎市	住吉	(市)芳士四本松線	R5.4	R7	北東	国10	15.6	14.8	15.3	20.1	19.1	20.7	NO	渋滞有		—
						南西	国10	26.7	23.6	27.7	14.7	16.0	21.5				
						南東	主11	5.2	7.8	8.1	4.3	6.1	7.7				
3.	宮崎市	宮崎銀行住吉支店前(仮)	(市)芳士四本松線	R5.4	R7	北東	国10	18.8	16.6	16.7	17.2	16.0	18.0	NO	渋滞有		—
						南西	国10	22.9	17.2	19.5	21.7	16.7	21.2				
						南東	市道等	23.6	17.6	16.1	-	-	-				
4.	宮崎市	佐土原町原口	(市)芳士四本松線	R5.4	R7	北	主10	19.3	14.3	13.8	11.4	11.7	11.9	NO	渋滞有		—
						北西	国10	11.6	13.2	13.3	12.1	12.2	13.1				
						南東	主10	10.4	63.6	57.9	19.3	12.3	14.3				
						南	国10	13.4	16.6	16.7	16.6	13.1	15.2				
5.	宮崎市	新名爪(仮)	(市)芳士四本松線	R5.4	R7	北東	国10	21.5	22.7	30.0	29.0	21.7	24.4	YES	渋滞有		—
						南西	国10	35.5	27.3	26.5	35.1	24.9	27.1				
6.	宮崎市	新名爪	(市)芳士四本松線	R5.4	R7	北	国219	6.4	6.0	5.5	11.3	11.5	11.1	NO	渋滞有		—
						北東	国10	11.8	11.5	11.8	19.3	19.0	20.3				
						南西	国10	8.5	10.7	11.0	10.8	11.2	12.6				
						南	国219	5.6	4.5	4.0	9.0	9.4	9.8				
7.	宮崎市	佐土原町片瀬原	(市)芳士四本松線	R5.4	R7	北東	国10	24.2	26.9	23.7	24.3	24.3	26.6	NO	渋滞有		—
						北西	市道等	29.3	12.6	21.4	22.7	17.3	20.5				
						南西	国10	34.9	31.7	29.1	31.3	28.6	28.8				

注1) 赤字は20km/h未満の箇所を示す
注2) 黄色ハッチング箇所は選定時に20km/h未満の箇所を示す
注3) グレーハッチング箇所はデータなしの箇所を示す

- 特定要件をクリアした箇所は1箇所であり、全箇所「現地調査」を実施。
- 現地調査の結果、全箇所「渋滞有」と判断されたため、7箇所は『経過観察』とする。

2. 主要渋滞箇所の特定解除

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県南エリア

①-4. 対策済箇所の箇所ごとの検討結果 (1. 源藤交差点)

○源藤交差点は、令和4年度に源藤～新横町交差点改良と令和4年度に東九州自動車道(清武南IC～日南北郷IC)の整備が完了。
○旅行速度データは全方向で20km/h未満となっており、現地では主道路の方向①と従道路の2方向で渋滞を確認。

<位置図>

旅行速度:選定時(H24.4~H24.8 プローブデータ)、最新(R6.4~R7.3 ETC2.0プローブ情報) 現地調査:R7.6.3(火)



	主道路		従道路	
	方向①	方向②	方向③	方向④
	北:国道220号	南:国道220号	西:県道27号線	東:市道等
	対策内容:源藤～新横町交差点改良、東九州自動車道(清武南IC～日南北郷IC)の整備			
旅行速度	km/h 20km/h未満 80 60 40 20 0 ■選定時 ■最新 平日朝 平日夕 休日昼			
現地調査	渋滞有り 最大滞留長:280m 最大渋滞長:230m	渋滞無し 最大滞留長:210m 最大渋滞長:0m	渋滞有り 最大滞留長:200m 最大渋滞長:50m	渋滞有り 最大滞留長:160m 最大渋滞長:20m
通過時間	現地で渋滞が確認されたため対象外			

	方向①②		方向③	方向③④	
	左直右	右折	右折,左折	左直右	右折
青時間	82秒	22秒	25秒	38秒	7秒
青時間比	48%	13%	15%	22%	4%
サイクル長	170秒				

R7.6.3(火)17時台

⇒「経過観察」として、今後も引き続きモニタリングを継続。(モニタリング2年目)

2. 主要渋滞箇所の特定解除

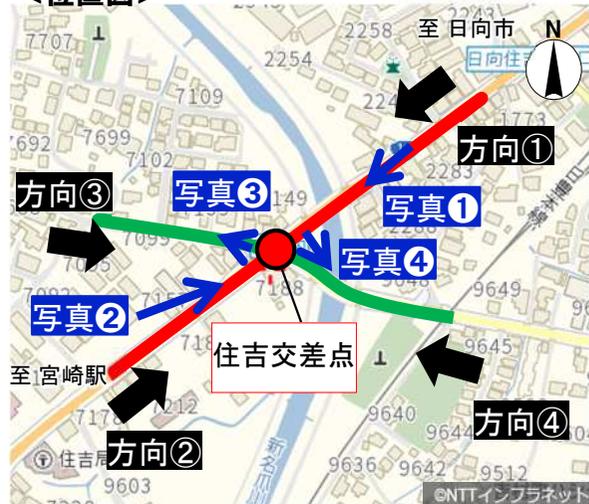
Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県南エリア

①-4. 対策済箇所の箇所ごとの検討結果 (2.住吉交差点)

- 住吉交差点は、令和5年度に芳士四本松線の整備が完了。
- 主道路の方向①では速度改善がみられ渋滞も確認されなかった。
- 旅行速度データは全方向で20km/h未満となっており、現地では主道路の方向②と従道路の2方向で渋滞を確認。

<位置図>



旅行速度: 選定時 (H24.4~H24.8 プローブデータ)、最新 (R6.4~R7.3 ETC2.0プローブ情報) 現地調査: R7.6.5(木)

	主道路		従道路	
	方向①	方向②	方向③	方向④
	北東: 国道10号	南西: 国道10号	西: 市道等	南東: 県道11号線
	対策内容: 芳士四本松線の整備			
旅行速度	km/h 20km/h未満 	km/h 20km/h未満 	データなし	km/h 20km/h未満
現地調査	渋滞無し 最大滞留長: 190m 最大渋滞長: 0m	渋滞有り 最大滞留長: 270m 最大渋滞長: 50m	渋滞有り 最大滞留長: 70m 最大渋滞長: 20m	渋滞有り 最大滞留長: 300m 最大渋滞長: 230m
通過時間	現地で渋滞が確認されたため対象外			

	方向①②	方向③④	方向④
青時間	102秒	27秒	18秒
青時間比	64%	17%	11%
サイクル長	160秒		

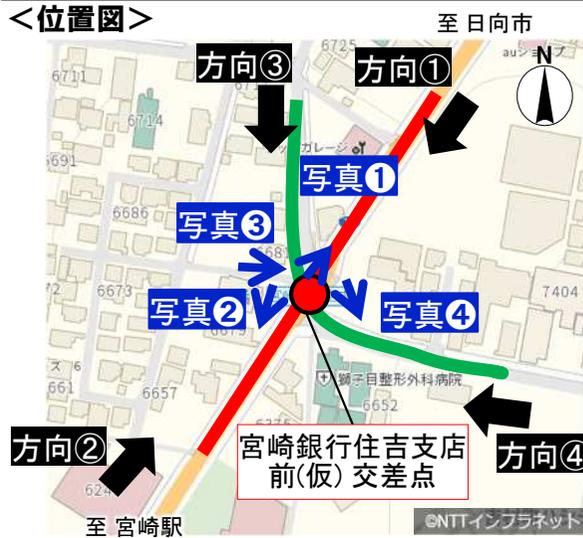
2. 主要渋滞箇所の特定解除

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県南エリア

①-4. 対策済箇所の箇所ごとの検討結果 (3.宮崎銀行住吉支店前(仮)交差点)

- 宮崎銀行住吉支店前(仮)交差点は、令和5年度に芳士四本松線の整備が完了。
- 主道路及び従道路の方向③で渋滞は確認されなかった。
- 旅行速度データは全方向で20km/h未満となっており、現地では従道路の方向④で渋滞を確認。



旅行速度: 選定時 (H24.4~H24.8 プローブデータ)、最新 (R6.4~R7.3 ETC2.0プローブ情報) 現地調査: R7.6.3(火)

	主道路		従道路	
	方向①	方向②	方向③	方向④
	北東: 国道10号	南西: 国道10号	北: 市道等	南東: 市道等
	対策内容: 芳士四本松線の整備			
旅行速度	km/h 20km/h未満 平日朝 平日夕 休日昼	km/h 20km/h未満 平日朝 平日夕 休日昼	データなし	km/h 最新データなし 平日朝 平日夕 休日昼
現地調査	渋滞無し 最大滞留長: 40m 最大渋滞長: 0m	渋滞無し 最大滞留長: 300m 最大渋滞長: 0m	渋滞無し 最大滞留長: 80m 最大渋滞長: 0m	渋滞有り 最大滞留長: 140m 最大渋滞長: 110m
通過時間	現地で渋滞が確認されたため対象外			



	方向①②	方向③	方向④
青時間	106秒	20秒	16秒
青時間比	66%	13%	10%
サイクル長	160秒		

2. 主要渋滞箇所の特定解除

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県南エリア

①-4. 対策済箇所の箇所ごとの検討結果 (4.佐土原町原口交差点)

- 佐土原町原口交差点は、令和5年度に芳士四本松線の整備が完了。
- 主道路の方向①及び従道路の方向③では渋滞は確認されなかった。
- 旅行速度データは全方向で20km/h未満となっており、現地では主道路の方向②と従道路の方向④で渋滞を確認。



旅行速度: 選定時(H24.4~H24.8 プローブデータ)、最新(R6.4~R7.3 ETC2.0プローブ情報) 現地調査: R7.6.4(水)

	主道路		従道路	
	方向①	方向②	方向③	方向④
	北西: 国道10号	南: 国道10号	北: 県道10号線	南東: 県道10号線
	対策内容: 芳士四本松線の整備			
旅行速度	<p>km/h 20km/h未満</p> <p>平日朝 平日夕 休日昼</p>	<p>km/h 20km/h未満</p> <p>平日朝 平日夕 休日昼</p>	<p>km/h 20km/h未満</p> <p>平日朝 平日夕 休日昼</p>	<p>km/h 20km/h未満</p> <p>平日朝 平日夕 休日昼</p>
現地調査	<p>渋滞無し</p> <p>最大滞留長: 160m 最大渋滞長: 0m</p>	<p>渋滞有り</p> <p>最大滞留長: 170m 最大渋滞長: 20m</p>	<p>渋滞無し</p> <p>最大滞留長: 200m 最大渋滞長: 30m</p> <p>※計測3回中、捌け残り回数1回のため、渋滞無(許容できる渋滞)と判断</p>	<p>渋滞有り</p> <p>最大滞留長: 80m 最大渋滞長: 20m</p>
通過時間	現地で渋滞が確認されたため対象外			



	方向①	方向②,③	方向②	方向④
	右折,左折	左直右	左折	右折,左折
青時間	65秒	47秒	80秒	18秒
青時間比	43%	31%	53%	12%
サイクル長	150秒			

※方向①③④は左折フリー
R7.6.4(水)8時台

⇒ 「経過観察」として、今後も引き続きモニタリングを継続。(モニタリング1年目)

2. 主要渋滞箇所の特定解除

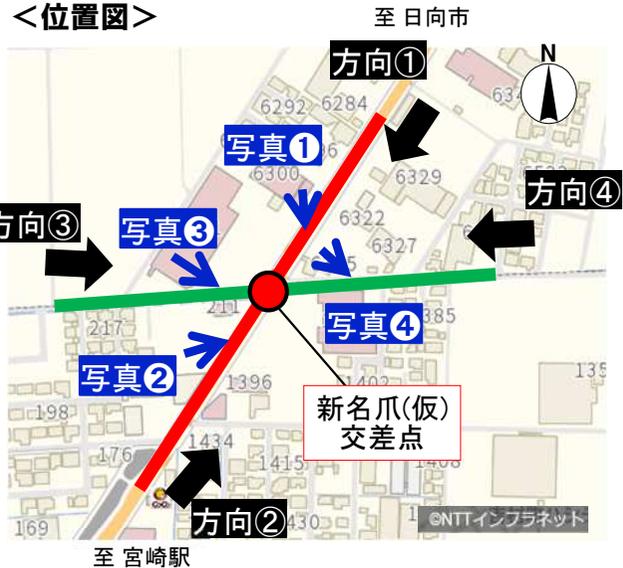
Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県南エリア

①-4. 対策済箇所の箇所ごとの検討結果 (5.新名爪(仮)交差点)

- 新名爪(仮)交差点は、令和5年度に芳士四本松線の整備が完了。
- 旅行速度データは全方向で20km/h以上だが、現地で渋滞を確認。

<位置図>



旅行速度: 選定時(H24.4~H24.8 プローブデータ)、最新(R6.4~R7.3 ETC2.0プローブ情報) 現地調査: R7.6.4(水)

	主道路		従道路	
	方向①	方向②	方向③	方向④
	北東: 国道10号	南西: 国道10号	西: 市道等	東: 市道等
	対策内容: 芳士四本松線の整備			
旅行速度	km/h 20km/h以上 	km/h 20km/h以上 	データなし	
現地調査	渋滞有り 最大滞留長: 30m 最大渋滞長: 10m ※無信号交差点のため、隣接交差点のサイクル長を参考に計測。	渋滞有り 最大滞留長: 150m 最大渋滞長: 20m ※無信号交差点のため、隣接交差点のサイクル長を参考に計測。	データなし	
通過時間	現地で渋滞が確認されたため対象外			



	方向①	方向②	方向③
青時間			
青時間比	無信号交差点		
サイクル長	-		

R7.6.4(水)17時台

⇒「経過観察」として、今後も引き続きモニタリングを継続。(モニタリング1年目)

2. 主要渋滞箇所の特定解除

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県南エリア

①-4. 対策済箇所の箇所ごとの検討結果 (6.新名爪交差点)

- 新名爪交差点は、令和5年度に芳士四本松線の整備が完了。
- 全方向で速度改善がみられ、主道路の方向①及び従道路の方向③では渋滞は確認されなかった。
- 旅行速度データは全方向で20km/h未満となっており、現地では主道路の方向②と従道路の方向④で渋滞を確認。



旅行速度: 選定時 (H24.4~H24.8 プローブデータ)、最新 (R6.4~R7.3 ETC2.0プローブ情報) 現地調査: R7.6.4(水)

	主道路		従道路	
	方向①	方向②	方向③	方向④
	北東: 国道10号		南西: 国道10号	
	対策内容: 芳士四本松線の整備			
旅行速度	km/h 20km/h未満	km/h 20km/h未満	km/h 20km/h未満	km/h 20km/h未満
	平日朝 平日夕 休日昼	平日朝 平日夕 休日昼	平日朝 平日夕 休日昼	平日朝 平日夕 休日昼
現地調査	渋滞無し	渋滞有り	渋滞無し	渋滞有り
	最大滞留長: 100m 最大渋滞長: 0m	最大滞留長: 260m 最大渋滞長: 50m	最大滞留長: 120m 最大渋滞長: 0m	最大滞留長: 120m 最大渋滞長: 20m
通過時間	現地で渋滞が確認されたため対象外			



	方向①②			方向③④	
	直進	右折	左折	直進	右折
青時間	67秒	9秒	42秒	31秒	42秒
青時間比	39%	5%	25%	18%	25%
サイクル長	170秒				

R7.6.4(水)18時台

⇒ 「経過観察」として、今後も引き続きモニタリングを継続。(モニタリング1年目)

2. 主要渋滞箇所の特定解除

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県南エリア

①-4. 対策済箇所の箇所ごとの検討結果 (7.佐土原町片瀬原交差点)

- 佐土原町片瀬原交差点は、令和5年度に芳士四本松線の整備が完了。
- 主道路及び従道路の方向③では渋滞は確認されなかった。
- 旅行速度データは方向③で20km/h未満となっており、現地では従道路の方向④で渋滞を確認。

<位置図>



旅行速度: 選定時 (H24.4~H24.8 プローブデータ)、最新 (R6.4~R7.3 ETC2.0プローブ情報) 現地調査: R7.6.4(水)

	主道路		従道路	
	方向①	方向②	方向③	方向④
	北東: 国道10号	南西: 国道10号	北西: 市道等	東: 市道等
	対策内容: 芳士四本松線の整備			
旅行速度	<p>km/h 20km/h以上</p> <p>平日朝 平日夕 休日昼</p>	<p>km/h 20km/h以上</p> <p>平日朝 平日夕 休日昼</p>	<p>km/h 20km/h未満</p> <p>平日朝 平日夕 休日昼</p>	データなし
現地調査	<p>渋滞無し</p> <p>最大滞留長: 240m 最大渋滞長: 0m</p>	<p>渋滞無し</p> <p>最大滞留長: 70m 最大渋滞長: 0m</p>	<p>渋滞無し</p> <p>最大滞留長: 80m 最大渋滞長: 0m</p>	<p>渋滞有り</p> <p>最大滞留長: 140m 最大渋滞長: 70m</p>
通過時間	現地で渋滞が確認されたため対象外			



	方向①②	方向③④
青時間	112秒	26秒
青時間比	75%	17%
サイクル長	150秒	

R7.6.4(水)7時台

⇒「経過観察」として、今後も引き続きモニタリングを継続。(モニタリング1年目)

2. 主要渋滞箇所の特定解除

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

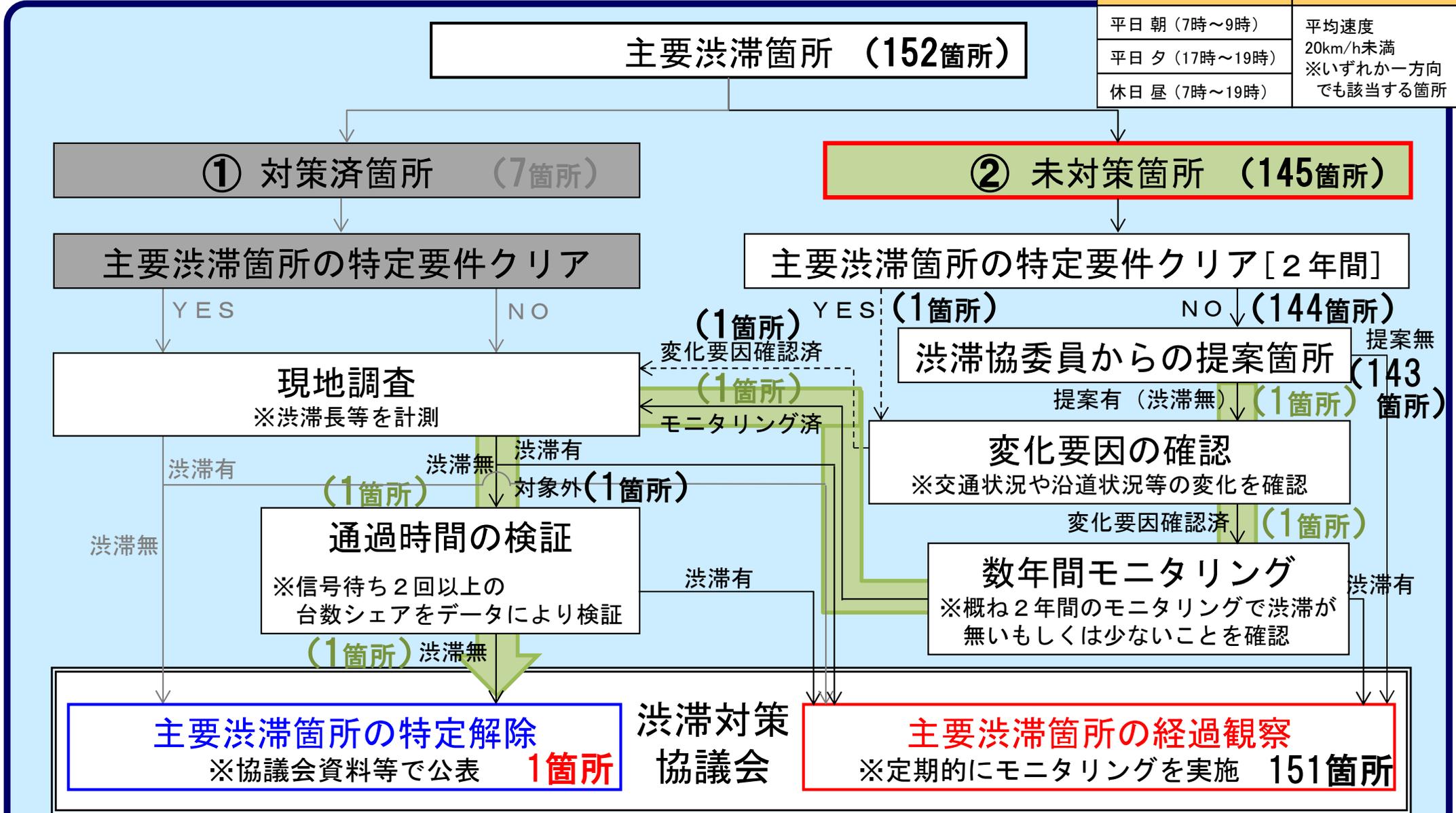
県南エリア

■ 未対策箇所の解除手順の検討結果

○未対策箇所145箇所について、解除フローに従い、最新のデータや現地状況等を確認。

▼主要渋滞箇所(一般道)の特定要件

曜日・時間帯	特定要件
平日 朝 (7時~9時)	平均速度 20km/h未満 ※いずれか一方 でも該当する箇所
平日 夕 (17時~19時)	
休日 昼 (7時~19時)	



2. 主要渋滞箇所の特定解除

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県南エリア

②-1. 県南エリアにおける未対策箇所(145箇所)の特定解除の検討結果

(1) 特定要件をクリアした箇所(1箇所)の検討結果

○未対策の主要渋滞箇所(145箇所)で、特定要件をクリアした1箇所の特定解除の検討結果一覧を以下に示す。

<未対策かつ特定要件をクリアした主要渋滞箇所における特定解除の検討結果>

データ: 選定時(H24.4~H24.8プローブデータ)、最新(R6.4~R7.3 ETC2.0プローブ情報)

No.	エリア	主要渋滞箇所	モニタリング開始年度	流入方向	路線名	旅行速度(km/h)						未対策箇所における判断指標			解除候補
						選定時			最新			特定要件クリア(2年間)	変化要因の確認	現地調査	
						平日朝	平日夕	休日昼間12H	平日朝ピーク	平日夕ピーク	休日昼間12H				
8.	宮崎市	工業団地入口(仮)	R4	北西	国10	37.8	38.2	43.3	29.4	31.1	44.1	YES	確認済(要因不明)	※対象外	-
				北東	市道等	-	23.0	18.9	-	-	-				
				南東	国10	19.0	20.2	25.1	21.9	26.5	31.2				

注1)赤字は20km/h未満の箇所を示す
注2)黄色ハッチング箇所は選定時に20km/h未満の箇所を示す
注3)グレーハッチング箇所はデータなしの箇所を示す

●8.工業団地入口(仮)交差点は、特定要件をクリアしているが、現在、第2花見工業団地造成事業が実施中であり、完成後は交通量の増加が見込まれるため、「経過観察」とする。

2. 主要渋滞箇所の特定解除

【審議事項】

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県南エリア

②-1. 県南エリアにおける未対策箇所(145箇所)の特定解除の検討結果

(2)特定要件をクリアしていない箇所(144箇所)の検討結果

○未対策の主要渋滞箇所(145箇所)で、特定要件をクリアしていない144箇所のうち、R6年度第2回渋滞協で、渋滞協委員より『渋滞無箇所』として提案された箇所の特定解除の検討結果一覧を以下に示す。

<未対策かつ特定要件をクリアしていない主要渋滞箇所における特定解除の検討結果>

データ: 選定時(H24.4~H24.8プローブデータ)、最新(R6.4~R7.3 ETC2.0プローブ情報)

No.	エリア	主要渋滞箇所	モニタリング開始年度	流入方向	路線名	旅行速度(km/h)						未対策箇所における判断指標						解除候補
						選定時			最新			特定要件クリア(2年間)	渋滞協委員からの提案	変化要因の確認	数年間モニタリング	現地調査	通過時間の検証	
						平日朝ピーク	平日タピーク	休日昼間12H	平日朝ピーク	平日タピーク	休日昼間12H							
9.	宮崎市	淀川3丁目(仮)	R7	北	市道等	27.8	28.2	30.2	21.3	16.0	17.3	NO	YES	確認済(要因不明)	2年間渋滞無	渋滞無	渋滞無	○
				西	市道等	18.6	30.9	17.4	14.4	15.2	14.5							
				南	市道等	31.2	30.1	32.0	10.5	15.2	16.1							

注1)赤字は20km/h未満の箇所を示す

注2)黄色ハッチング箇所は選定時に20km/h未満の箇所を示す

注3)グレーハッチング箇所はデータなしの箇所を示す

●9.淀川3丁目(仮)交差点は、特定要件はクリアしていないが、渋滞協委員より『渋滞無箇所』として提案され、解除手順に従って現地調査等を実施した結果、渋滞していないことを確認したため、解除候補箇所とする。

⇒【解除候補箇所】9.淀川3丁目(仮)交差点

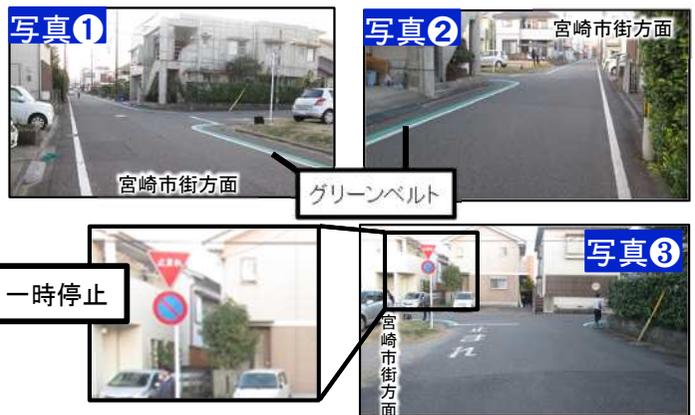
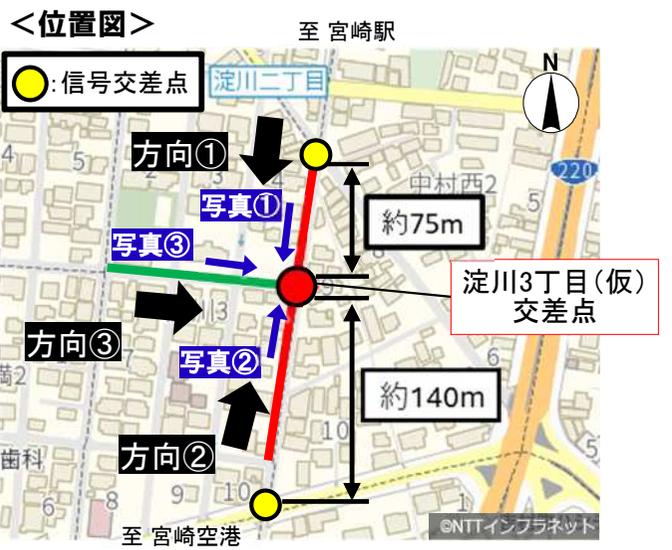
2. 主要渋滞箇所の特定解除

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県南エリア

②-2. 未対策箇所の箇所ごとの検討結果 (9. 淀川3丁目(仮)交差点)

○指定速度30km/hの生活道路で選定時以降にグリーンベルトも設置されており、方向①②には信号交差点が隣接し方向③には一時停止箇所があるなど旅行速度は3方向で20km/h未満になっているが、現地で渋滞が発生していないことを確認。
○R6.4~R7.3の1年分のデータで交差点通過時間を確認し、信号待ち2回以上の車両は5%未満であることを確認。



	方向①	方向②	方向③
青時間			
青時間比	無信号交差点		
サイクル長	-		

旅行速度: 選定時(H24.4~H24.8 プローブデータ)、最新(R6.4~R7.3 ETC2.0プローブ情報)、現地調査: R7.1.14(火)、通過時間: R6.4~R7.3

	主道路		従道路
	方向①	方向②	方向③
	北:市道等	南:市道等	西:市道等
	対策内容: -		
旅行速度	<p>km/h 20km/h未満</p> <p>平日朝 平日夕 休日昼</p>	<p>km/h 20km/h未満</p> <p>平日朝 平日夕 休日昼</p>	<p>km/h 20km/h未満</p> <p>平日朝 平日夕 休日昼</p>
現地調査	<p>渋滞無し</p> <p>最大滞留長: 10m 最大渋滞長: 0m</p>	<p>渋滞無し</p> <p>最大滞留長: 10m 最大渋滞長: 0m</p>	<p>渋滞無し</p> <p>最大滞留長: 10m 最大渋滞長: 0m</p>
通過時間	<p>台数 サイクル長131秒</p> <p>信号待ち 1回以下 信号待ち 2回以上</p> <p>0.0%</p> <p>サンプル数: 330台 集計区間長: 10m(最大滞留長)</p>	<p>台数 サイクル長131秒</p> <p>信号待ち 1回以下 信号待ち 2回以上</p> <p>0.0%</p> <p>サンプル数: 412台 集計区間長: 10m(最大滞留長)</p>	<p>台数 サイクル長131秒</p> <p>信号待ち 1回以下 信号待ち 2回以上</p> <p>0.0%</p> <p>サンプル数: 711台 集計区間長: 10m(最大滞留長)</p>

※無信号交差点のため、滞留長は隣接交差点のサイクル長を参考に計測。

※無信号交差点のため、通過時間の検証は、隣接交差点のサイクル長を用いる。

⇒現地状況及びETC2.0データの集計結果を踏まえ、淀川3丁目(仮)交差点を解除候補箇所とする。 30

2. 主要渋滞箇所の特定解除

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

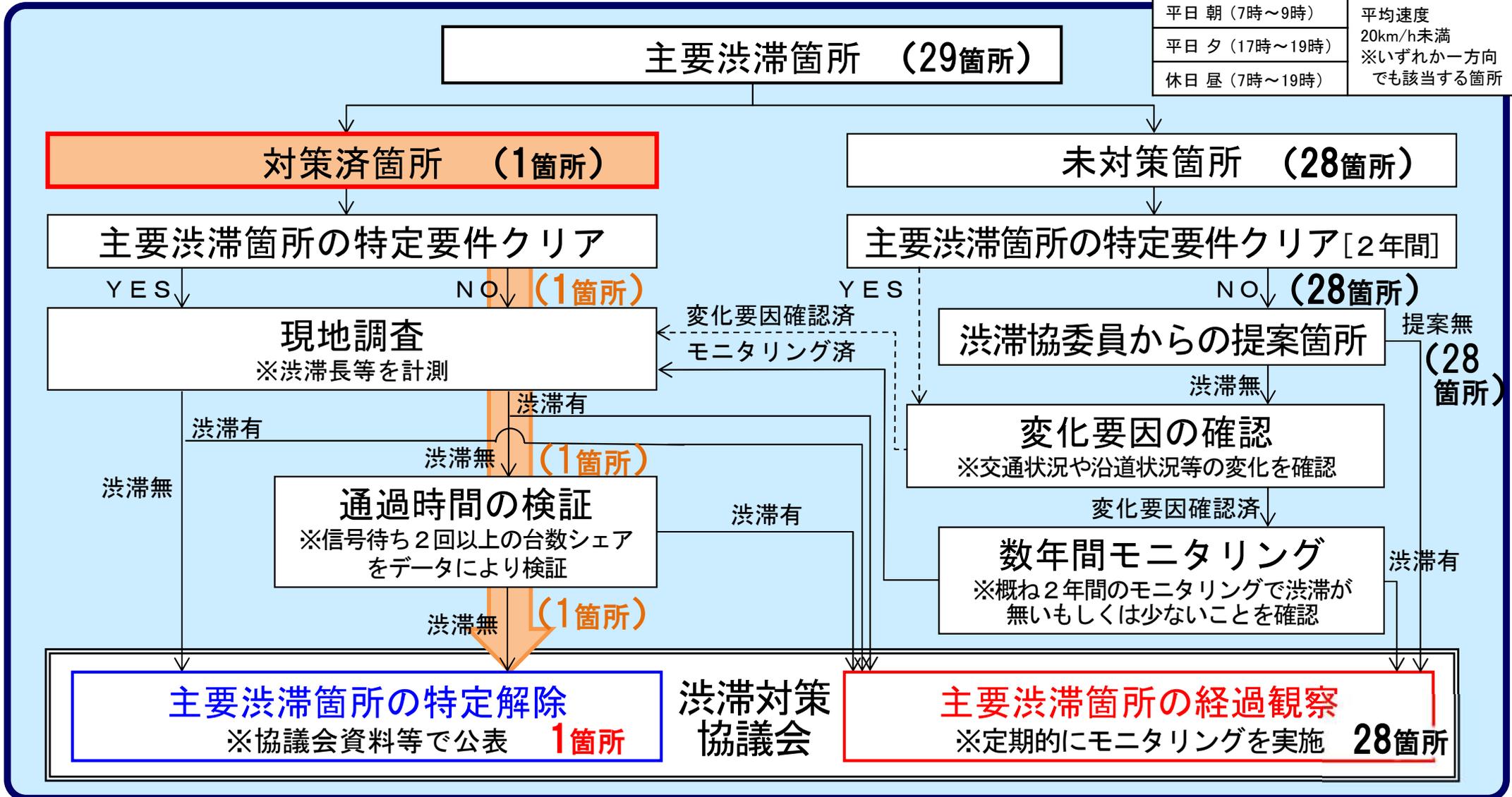
県北エリア

■ 対策済箇所の解除手順の検討結果

○最新のデータや現地状況等を確認し、各箇所毎に協議会で判断して解除を行う。

▼主要渋滞箇所(一般道)の特定要件

曜日・時間帯	特定要件
平日 朝 (7時~9時)	平均速度 20km/h未満 ※いずれか一方 でも該当する箇所
平日 夕 (17時~19時)	
休日 昼 (7時~19時)	



2. 主要渋滞箇所の特定解除

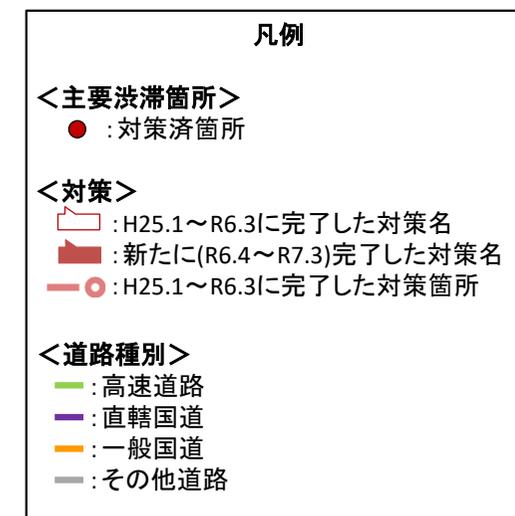
Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県北エリア

■県北エリアの対策済箇所一覧・位置図(1箇所)

○県北エリアの主要渋滞箇所29箇所のうち、対策済のモニタリング箇所は「延岡市役所入口」の1箇所である。

NO.	主要渋滞箇所	市町村	事業主体	渋滞対策	整備時期	モニタリング経緯, 今回
1	延岡市役所入口	延岡市	延岡市	右折レーン延伸 等	R4年度	R5~, R7



2. 主要渋滞箇所の特定解除

【審議事項】

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県北エリア

■県北エリアにおける対策済箇所(1箇所)の特定解除の検討結果

○H25.1月(主要渋滞箇所の公表)以降に実施された渋滞対策により、交通状況の変化が想定される主要渋滞箇所(対策済箇所)の特定解除の検討結果を以下に示す。

＜対策済の主要渋滞箇所における特定解除の検討結果＞

No.	エリア	主要渋滞箇所	渋滞対策	整備時期	モニタリング経緯	流入方向	路線名	選定時			最新			特定要件クリア	現地調査	通過時間の検証	解除候補
								旅行速度(km/h)			旅行速度(km/h)						
								平日朝ピーク	平日夕ピーク	休日昼間12H	平日朝ピーク	平日夕ピーク	休日昼間12H				
1.	延岡市	延岡市役所入口	右折レーン延伸等	R4年度	R5～	北	市道等	12.3	8.6	13.1	15.7	13.0	15.4	NO	渋滞無	渋滞無	○
						西	市道等	13.5	13.7	15.6	12.0	11.6	16.1				
						東	市道等	14.6	12.2	12.3	15.2	15.1	16.0				
						南	市道等	33.0	14.0	17.3	20.7	18.3	18.5				

データ:選定時(H24.4～H24.8プローブデータ)、最新(R4.4.1～R5.3.31 ETC2.0プローブ情報)
延岡市役所入口交差点はR5.2.22開通のため「R5.3.1～R5.5.31」の期間で集計

注1)赤字は20km/h未満の箇所を示す
注2)黄色ハッチング箇所は選定時に20km/h未満の箇所を示す
注3)グレーハッチング箇所はデータなしの箇所を示す

- “1.延岡市役所入口”は特定要件をクリアしていないため、「現地調査」を実施。
- 現地調査の結果「渋滞無」を確認できたため、“1.延岡市役所入口”を解除候補箇所とする。

2. 主要渋滞箇所の特定解除

Check : 対策評価
Action : 対策箇所の見直し

県北エリア

■現地調査・通過時間の検証結果（延岡市役所入口交差点）

○市役所来庁者等の交差点横断者が多いこと等により、旅行速度は4方向で20km/h未満となっているが、現地で渋滞が発生していないことを確認。
○R6.4～R7.3の1年間データで交差点通過時間を分析し、信号待ち2回以上の車両が5%未満である事を確認。

※旅行速度:選定時(H24.4～H24.8プローブデータ)、最新(R6.4.1～R7.3.31 ETC2.0プローブ情報) ※現地調査: R7.6.19(木)

<位置図>



	方向①②		方向③④
	左直右	右折	
青時間	66秒	7秒	43秒
青時間比	51%	5%	33%
サイクル長	130秒		

	主道路		従道路	
	方向① 北:市道等	方向② 南:市道等	方向③ 東:市道等	方向④ 西:市道等
	対策内容:右折レーンの延伸(R4年度)			
旅行速度	<p>20km/h未満</p>	<p>20km/h未満</p>	<p>20km/h未満</p>	<p>20km/h未満</p>
現地調査	<p>渋滞無し</p> <p>最大滞留長: 150m 最大渋滞長: 0m</p>	<p>渋滞無し</p> <p>最大滞留長: 50m 最大渋滞長: 0m</p>	<p>渋滞無し</p> <p>最大滞留長: 60m 最大渋滞長: 0m</p>	<p>渋滞無し</p> <p>最大滞留長: 120m 最大渋滞長: 20m (1回)</p>
通過時間	<p>サイクル長130秒</p> <p>信号待ち 1回以下</p> <p>信号待ち 2回以上</p> <p>サンプル数: 1,394台 集計区間長: 150m(最大滞留長)</p>	<p>サイクル長130秒</p> <p>信号待ち 1回以下</p> <p>信号待ち 2回以上</p> <p>サンプル数: 1,158台 集計区間長: 50m(最大滞留長)</p>	<p>サイクル長130秒</p> <p>信号待ち 1回以下</p> <p>信号待ち 2回以上</p> <p>サンプル数: 935台 集計区間長: 60m(最大滞留長)</p>	<p>サイクル長130秒</p> <p>信号待ち 1回以下</p> <p>信号待ち 2回以上</p> <p>サンプル数: 3,337台 集計区間長: 120m(最大滞留長)</p>

⇒現地状況およびETC2.0データの集計結果を踏まえ、延岡市役所入口交差点を解除候補箇所とする。

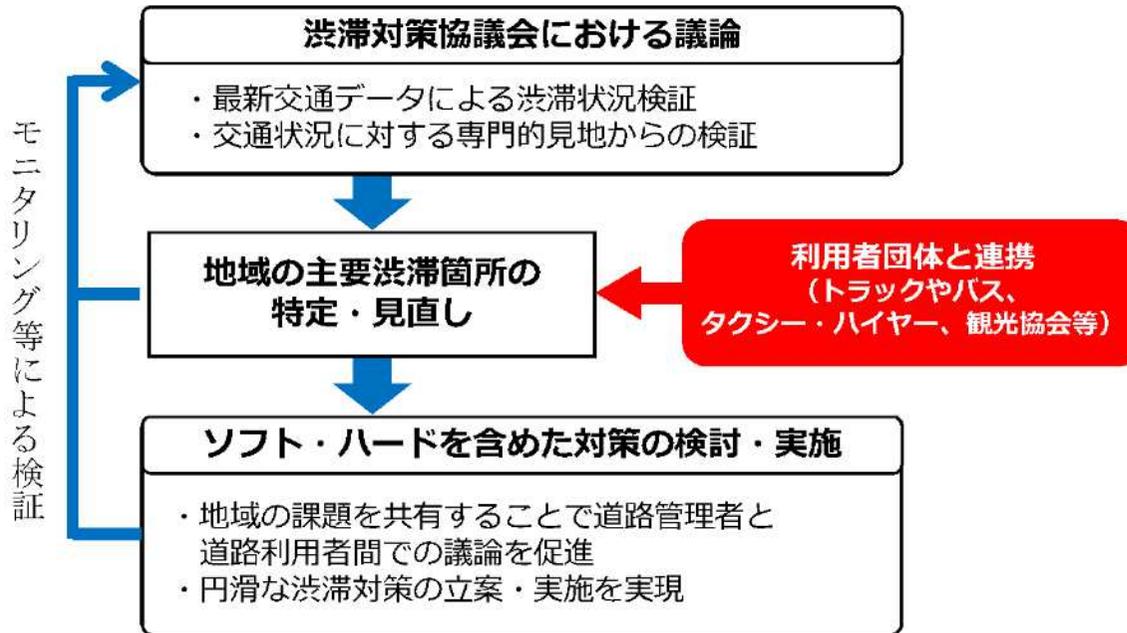
3. 渋滞対策の取り組み状況

(1)官民連携による渋滞対策

■取り組みの概要

- 人・物の輸送の効率化を図るため、渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、即効性のある渋滞対策を実施。

[渋滞対策の流れ]



<トラックが渋滞に巻き込まれている状況>



<バスが渋滞に巻き込まれている状況>



宮崎県の例 (トラック・バスが渋滞に巻き込まれている状況)



▲主要渋滞箇所 源藤交差点



▲主要渋滞箇所 市役所前交差点

今後も引き続き、道路利用者から見た渋滞箇所の対策を検討

3. 渋滞対策の取り組み状況

(1)官民連携による渋滞対策

■道路利用者の要望箇所

- トラック、バス、ハイヤー・タクシー各事業者から、全39箇所の要望が挙げられた。
- 毎年、要望箇所に対して対策案の検討を行っている。

 : 今年度対策着手箇所

 : 対策実施中箇所

<トラック事業者>

事業者	市町村	路線番号	指摘箇所名	対策着手年度	
宮崎県 トラック 事業者	延岡市	国道10号	土々呂付近	R1	
	延岡市	国道10号	旭ヶ丘付近		
	宮崎市	国道10号	新名爪交差点付近		
			住吉駅付近		
			花ヶ島		
			橘通3丁目交差点付近	R7	
			佐土原付近		
			江平五差路		
			宮崎県立病院前交差点	R7	
			花見橋付近	R2	
			国道220号	源藤交差点付近	R2・R3
			国道269号	池田台～清武 正手交差点	
	県道11号	吉村町交差点			
	県道372号	石崎付近 塩路交差点付近			
	市道	大王町交差点～赤江大橋付近			
	都城市	国道10号	平江交差点 甲斐元交差点		
		県道108号	乙房交差点		
国道220号		源藤交差点付近	R2・R3		
鹿児島県 トラック 事業者	宮崎市	国道220号	源藤交差点付近	R2・R3	
都城市	国道10号	都城市内	R6、R7		
		平江交差点付近			

<バス事業者>

事業者	市町村	路線番号	指摘箇所名	対策着手年度
宮崎県 バス 事業者	宮崎市	国道10号	宮崎東高前交差点	R2
			日向住吉駅付近	
	高鍋町		菖蒲池交差点付近	R4
	宮崎市	国道220号	本郷ランプから宮崎市内方面	R3
		国道269号	宮崎市正手交差点付近	

<ハイヤー・タクシー事業者>

協会	市町村	路線番号	指摘箇所名	対策着手年度
宮崎県 ハイヤー・ タクシー 事業者	延岡市	国道10号	旭ヶ丘交差点付近	R1
			粟野名交差点付近	R6
			日出町1丁目交差点付近	R2
		松原交差点付近	R1	
		県道16号	溝口交差点付近	
	日向市	国道327号	山崎精肉店付近	
	宮崎市	県道9号	京塚交差点付近	
		県道44号	矢の先交差点付近	
	都城市	国道10号	甲斐元交差点付近	
			平江交差点付近	
国道222号		都城警察署前付近		

3. 渋滞対策の取り組み状況

(1)官民連携による渋滞対策

Plan : 対策立案

■主要渋滞箇所 橋通3丁目交差点 (要望箇所:橋通3丁目交差点付近)

※R7年度実施予定

宮崎河川国道

【トラック事業者要望箇所】

【渋滞要因】北側流入部において、当該交差点で右折する車両が多く、右折車線を超えた右折車滞留により、直進阻害が生じることで渋滞が発生
 【対策内容】右折車線の延伸

<位置図>

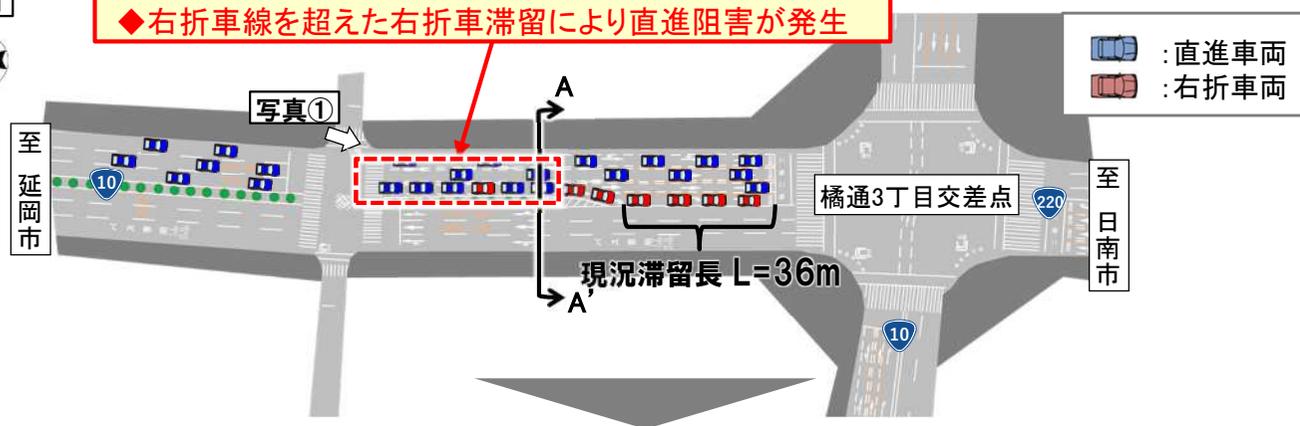


<対策内容>

対策前

<現況>

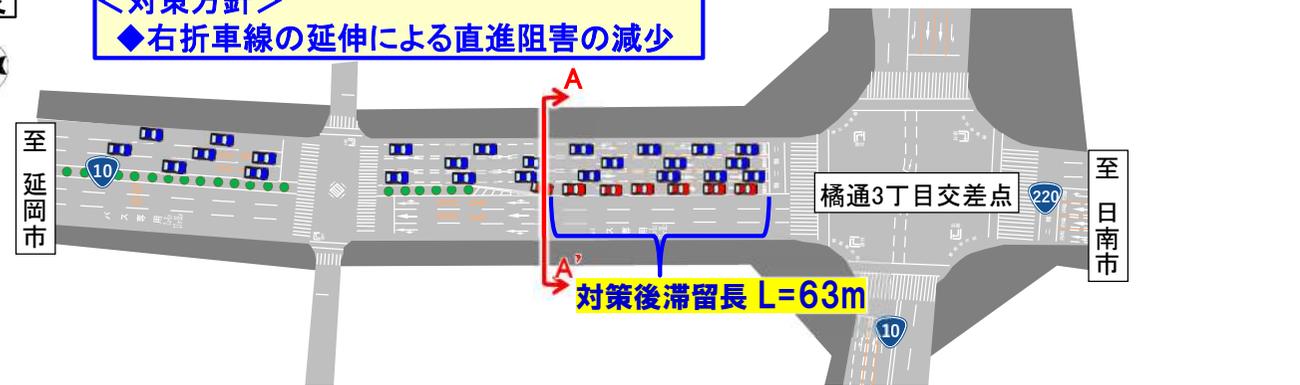
◆右折車線を超えた右折車滞留により直進阻害が発生



対策後

<対策方針>

◆右折車線の延伸による直進阻害の減少



<交通状況>

右折車両による直進阻害が発生

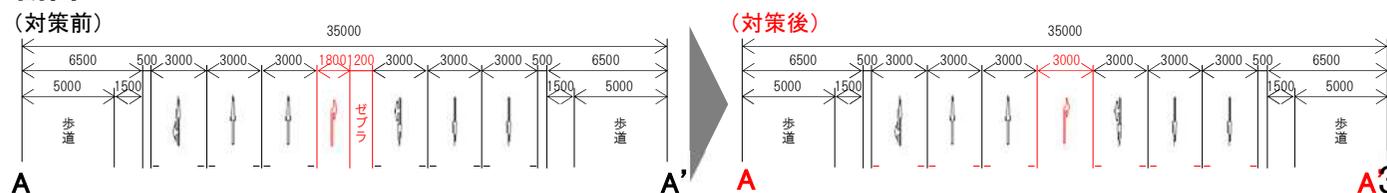


いずれの時間帯も 20km/h未満

北側流入部	平日朝 (7-8時台)	平日夕 (17-18時台)	休日昼 (7-18時台)
旅行速度(km/h)	9.8	9.5	10.5

データ:ETC2.0 R5.4~R6.3

<断面A-A'>



3. 渋滞対策の取り組み状況

(1)官民連携による渋滞対策

Plan : 対策立案

■主要渋滞箇所 県病院西交差点 (要望箇所:宮崎県立病院前交差点)

※R7年度実施予定

宮崎河川国道

【トラック事業者要望箇所】

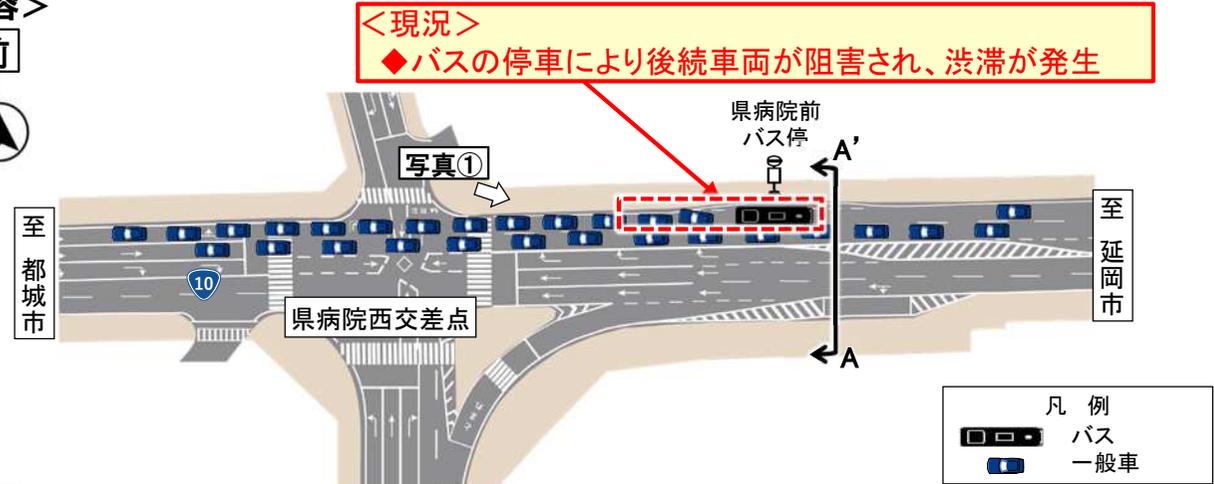
【渋滞要因】西側流入部において、交差点の流出部にあるバス停へのバスの停車により、後続車両が阻害を受け渋滞が発生
【対策内容】バスカットの確保

<位置図>



<対策内容>

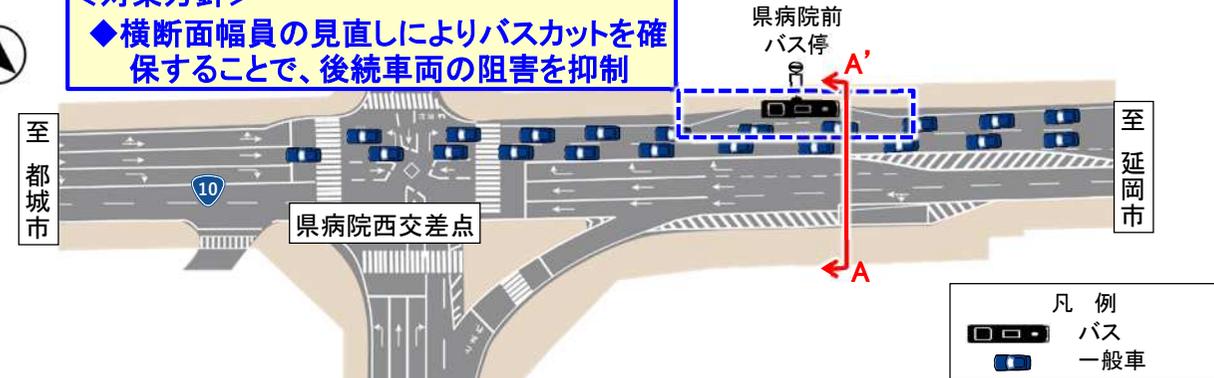
対策前



対策後



<対策方針>
◆横断面幅員の見直しによりバスカットを確保することで、後続車両の阻害を抑制



<交通状況>



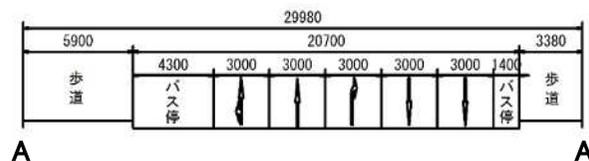
いずれの時間帯も
20km/h未満

西側流入部	平日朝 (7-8時台)	平日夕 (17-18時台)	休日昼 (7-18時台)
旅行速度(km/h)	11.2	9.5	12.1

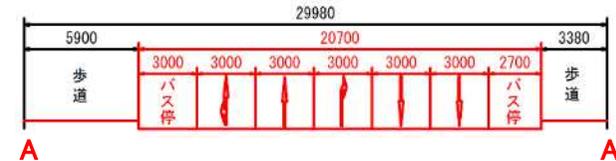
データ:ETC2.0 R5.4~R6.3

<断面A-A'>

(対策前)



(対策後)



3. 渋滞対策の取り組み状況

(1)官民連携による渋滞対策

Plan : 対策立案

■主要渋滞箇所 広口交差点

(要望箇所:都城市内)

※R7年度実施予定

宮崎河川国道

【トラック事業者要望箇所】

【渋滞要因】片側1車線の交差点で、付近には合同庁舎や西都城駅が立地しており、交通集中により渋滞が発生

【対策内容】停止線の前出し

<位置図>



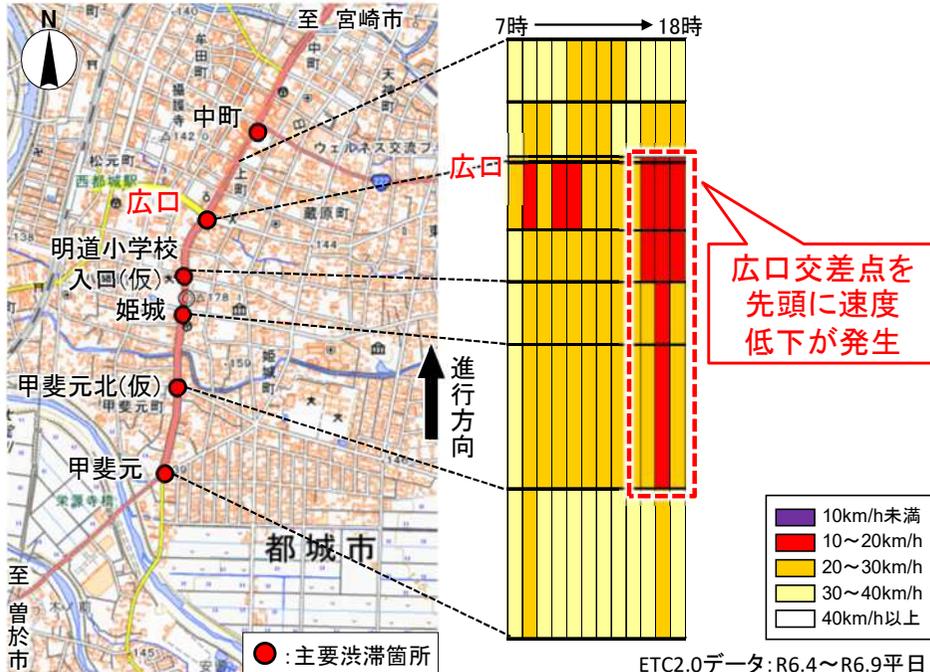
<交通状況>



<対策内容>



<速度状況>



3. 渋滞対策の取り組み状況

(1)官民連携による渋滞対策

D0：対策実施

■主要渋滞箇所 市場入口交差点 (要望箇所:都城市内)

R7.3.24完了

宮崎河川国道・都城市

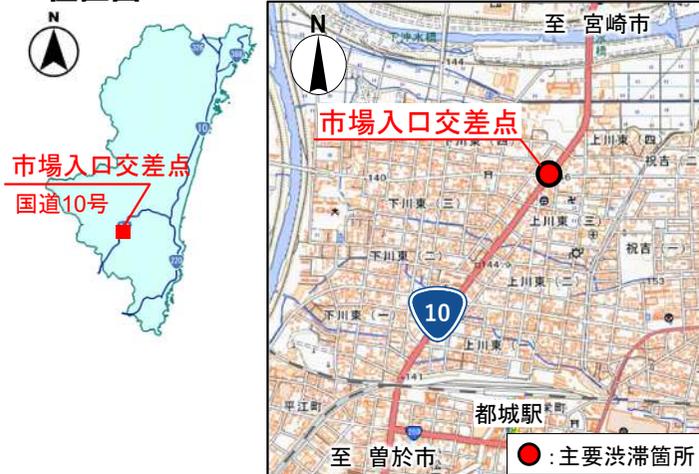
【トラック事業者要望箇所】

いちばいりぐち

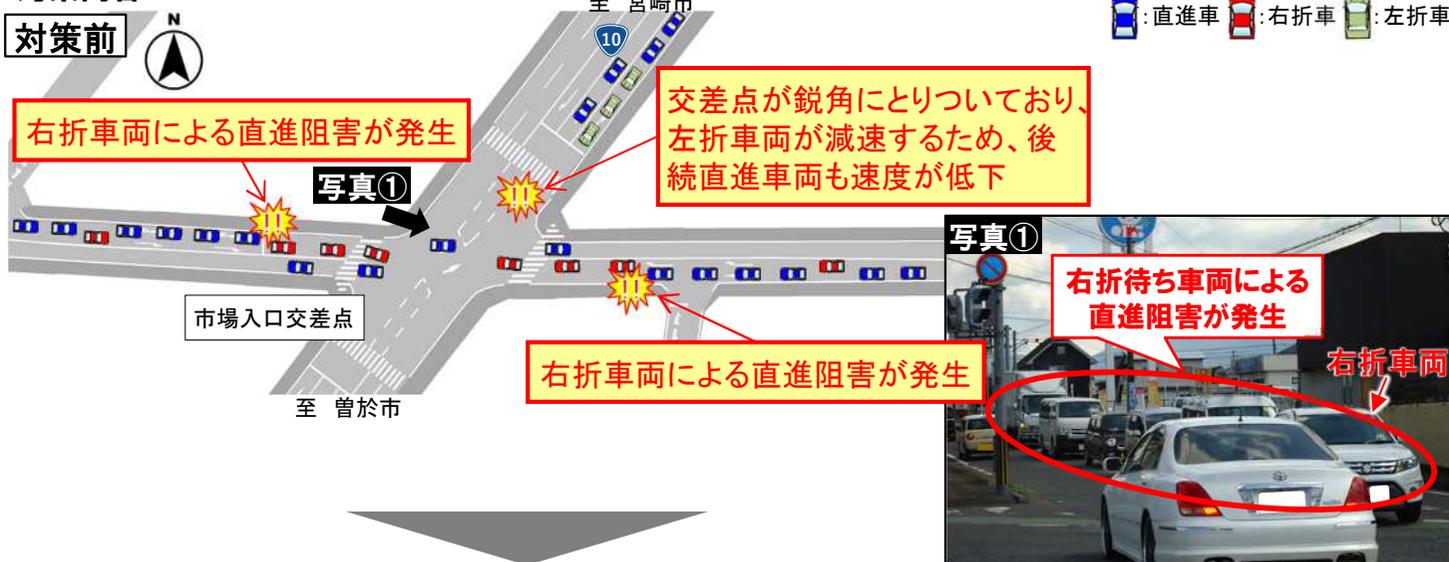
【渋滞要因】・北側流入部において、交差点が鋭角に取りついているため左折車両が減速し、直進阻害が生じることで渋滞が発生
・従道路においては、右折車両が直進車両を阻害して渋滞が発生

【対策内容】左折路の設置、右折車線の設置

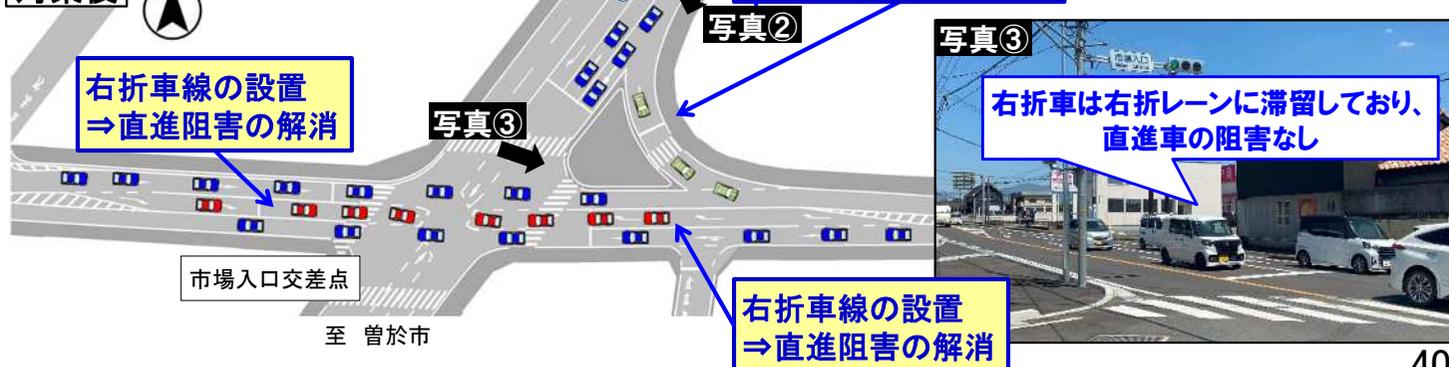
<位置図>



<対策内容>



対策後



3. 渋滞対策の取り組み状況

(1)官民連携による渋滞対策

D0 : 対策実施

延岡河川国道

※R6年度事業化済み(完了時期未定)

■主要渋滞箇所 延岡港入口(仮)交差点

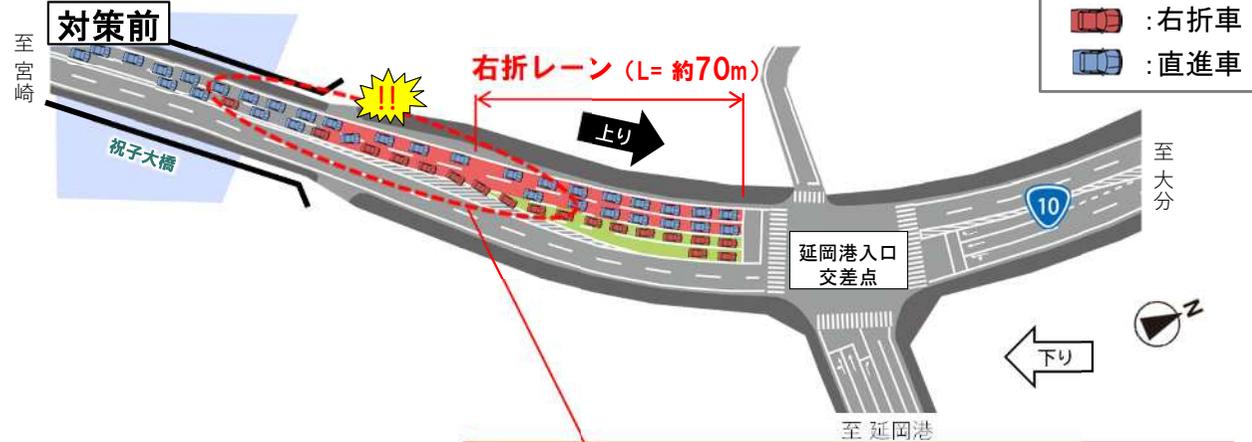
(要望箇所:栗野名交差点付近)

【渋滞要因】上り線で右折レーンの滞留長不足により直進車線まで滞留が発生し、直進車両の阻害による渋滞が発生。
 【対策内容】二輪車専用停止線の廃止による停止線の前出しと、右折レーン延伸に合わせたカラー舗装。

<位置図>



<対策内容>



<現況>
 ◆右折レーンの滞留長不足により直進車線まで滞留
 ◆直進車両を阻害し渋滞が発生

<交通状況>



<対策方針>
 ◆停止線の前出し(二輪車停止線の撤去)
 ◆右折レーンの延伸およびカラー舗装

3. 渋滞対策の取り組み状況

(2)次年度以降の渋滞対策案

Plan：対策立案

■主要渋滞箇所 相生橋北西側(仮)交差点

あいおいばしきたにしがわ

※実施時期等については検討中

宮崎県

【渋滞要因】宮崎市中心部等への交通が集中し、右折車両の滞留によって捌けが悪く、渋滞が発生

【対策内容】現在の歩道及び路肩空間を利用して右折レーンを増設し、交通容量を増加させることで渋滞緩和

<位置図>

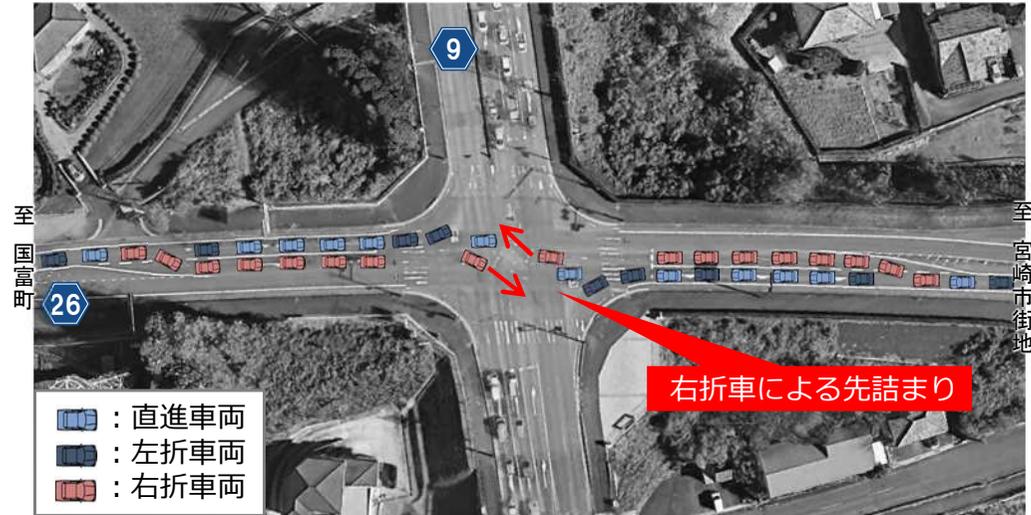


<交通状況>



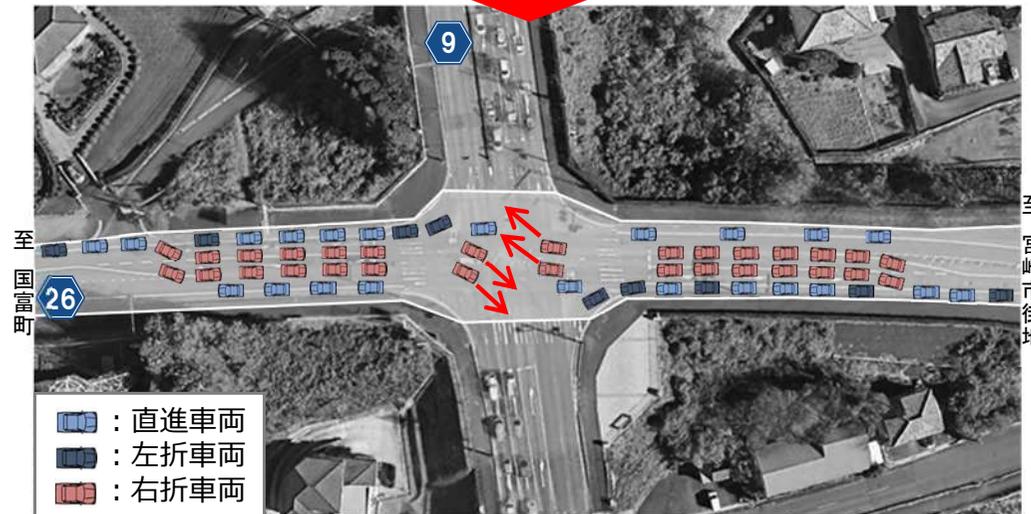
<対策内容>

(対策前)



幅員構成の見直し検討
(自歩道解除等による追加レーン創出)

(対策後)



3. 渋滞対策の取り組み状況

(2)次年度以降の渋滞対策案

Plan : 対策立案

宮崎市

おおしまおおはしにしがわ

■主要渋滞箇所 大島大橋西側(仮)交差点

【渋滞要因】東側流入部、西側流入部で直進車及び右折車の滞留による渋滞が発生
 【対策内容】信号現示の調整（直進及び右折車の青時間を延長）

<位置図>



<対策内容>



<交通状況>



箇所番号	所在地	交差点名	対策状況	方向	路線名	旅行速度 (km/h) / 通過時間				管理種別		
						平日朝ピーク	平日夕ピーク	休日昼間12H	休日朝ピーク		平日夕ピーク	休日昼間12H
35	宮崎市	大島大橋西側(仮)		北	市道等	28.5	25.3	29.6	28.8	25.4	28.6	○
				西	市道等	4.5	4.8	5.2	7.8	7.5	7.2	
				東	市道等	7.7	6.4	7.6	10.3	7.8	8.5	
				南	市道等	27.7	23.7	24.5	26.6	21.8	20.6	

対策後



3. 渋滞対策の取り組み状況

(3)今年度実施中の渋滞対策

D0：対策実施

■主要渋滞箇所 北原交差点

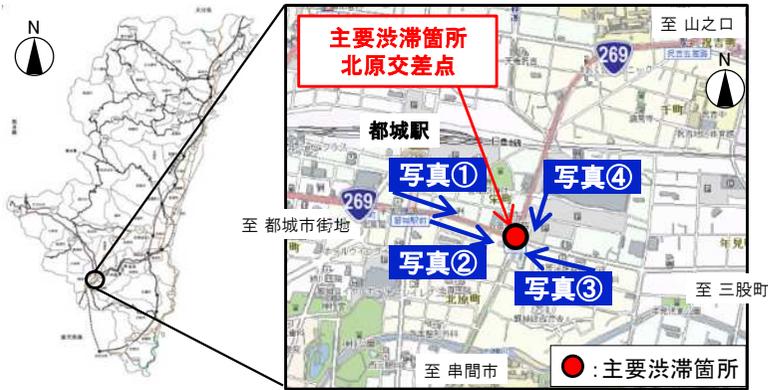
※R3年度より実施中

宮崎県

きたはら

- 【渋滞要因】山之口方面への左折車両が直進車両を阻害して渋滞が発生。
- 【対策内容】交差点改良(直進・左折レーンの線形改良、右折レーンの設置)
(併せて串間市方面への右折レーンを設置し、車線運用の簡易化による円滑性及び安全性の向上を図る)
- 【事業状況】車道部の交差点改良は完了し、令和7年度は、残る歩道整備工事・照明灯設置工事を実施。

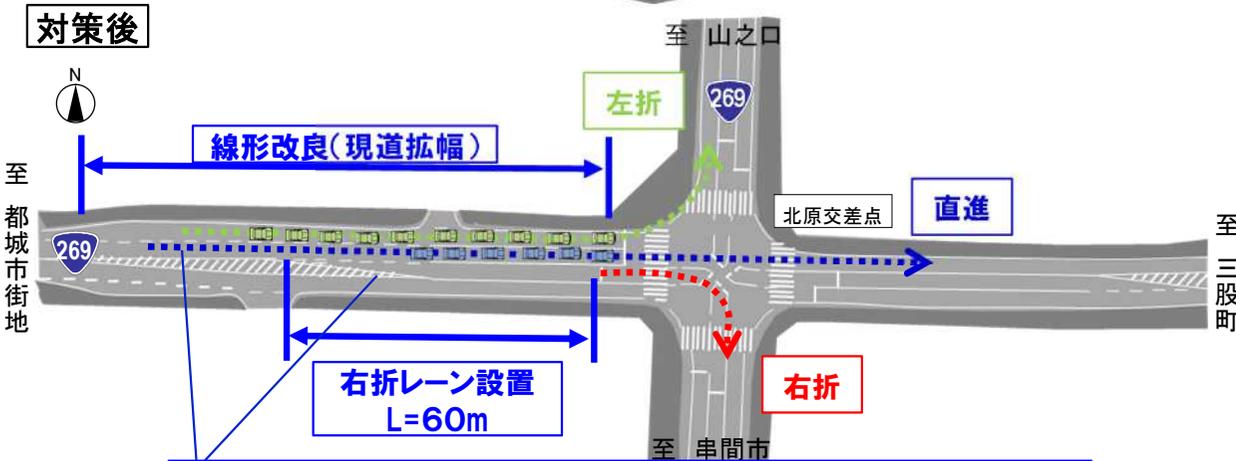
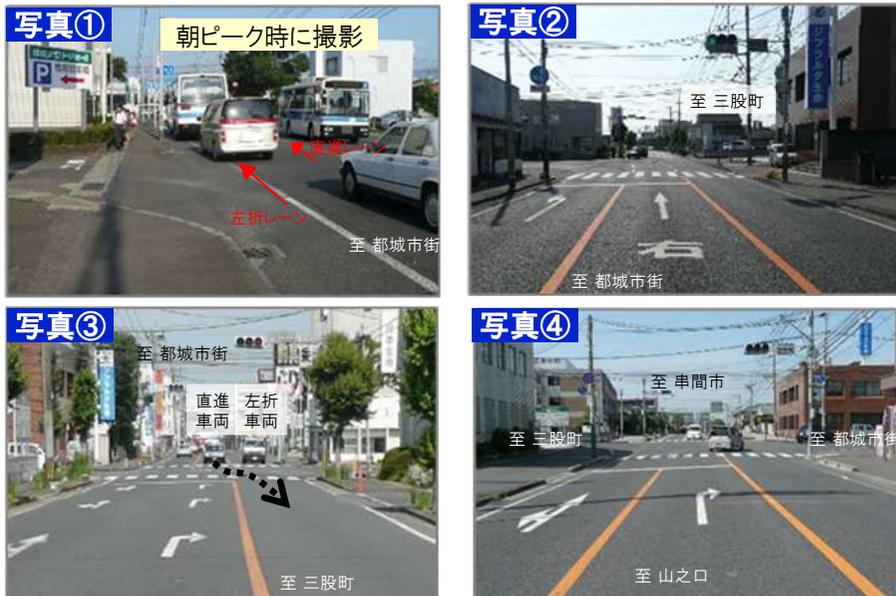
<位置図>



<対策内容>



<交通状況>



<対策方針>
◆交差点改良 (直進・左折レーンの線形改良、右折レーン設置)

3. 渋滞対策の取り組み状況

(3)今年度実施中の渋滞対策

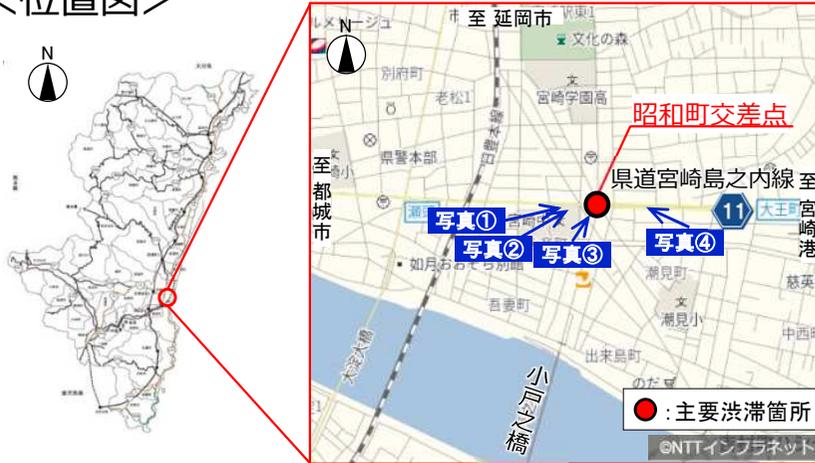
D0 : 対策実施

宮崎県

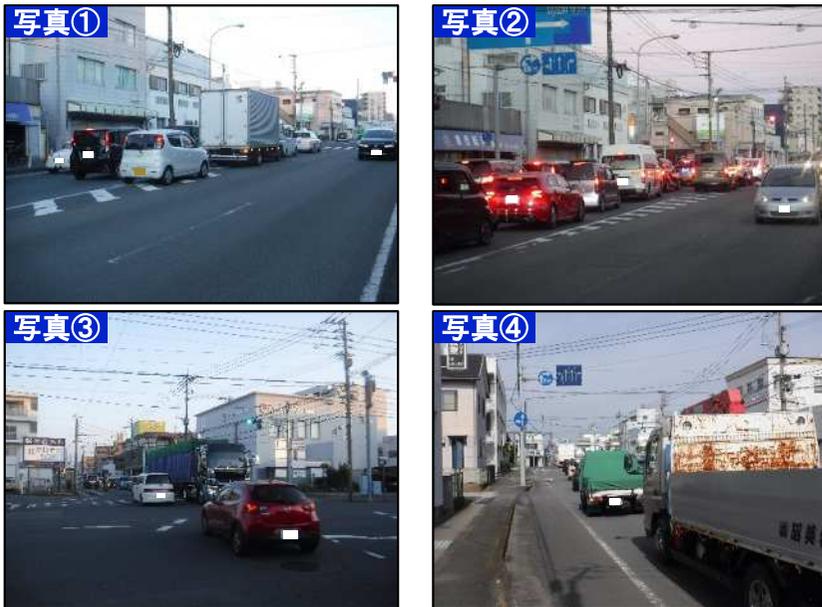
■主要渋滞箇所 昭和小戸交差点(都市計画道路 旭通線(県道宮崎島之内線)) ※R4年度より実施中

【渋滞要因】小戸之橋方面への右折車両が直進車両を阻害して渋滞が発生
 【対策案】右折レーンの延伸(併せて直進の線形改良により円滑性及び安全性の向上を図る)
 【事業状況】令和7年度は用地補償、道路改良工事を実施。

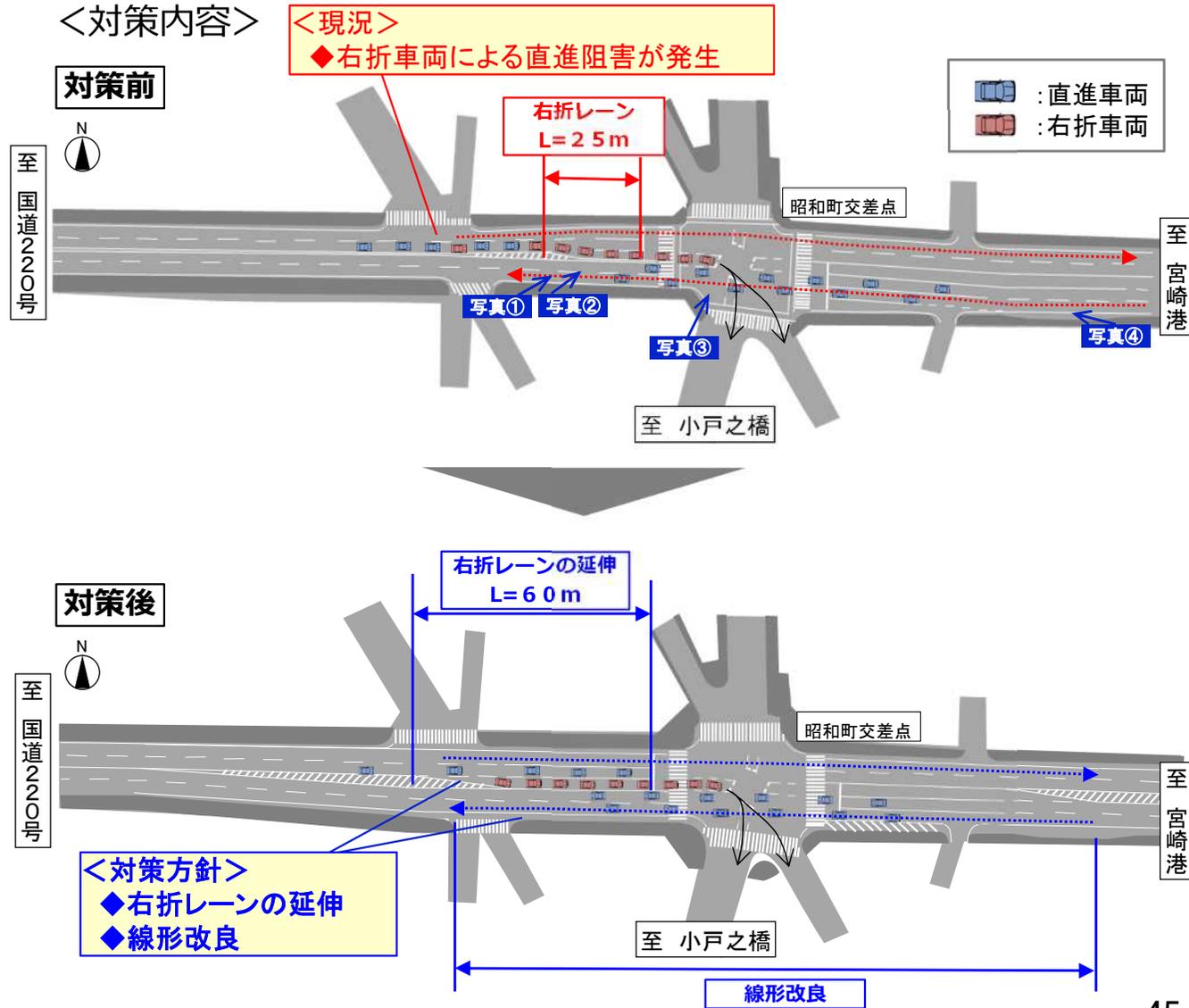
<位置図>



<交通状況>



<対策内容>



3. 渋滞対策の取り組み状況

(3)今年度実施中の渋滞対策

Do : 対策実施

宮崎県

■主要渋滞箇所 ①伊達町交差点、②伊達町2交差点、③南延岡駅前交差点、④平原2(仮)交差点 ～ 稲葉崎平原線(構口工区、平原工区)～

【渋滞要因】南北方向の(主)稲葉崎平原線でピーク時中心部への流入が集中し渋滞発生。
 【対策内容】現道拡幅を実施。
 (併せて無電柱化(電線共同溝)を実施することで災害時の輸送路、避難路を確保)
 【事業状況】(構口工区)令和7年度は道路改良工事を実施。(平原工区)令和7年度は詳細設計を実施。



- 凡例
- 通学路
 - 合同点検危険箇所
 - 緊急輸送道路
 - 主要渋滞箇所



<施工状況>



3. 渋滞対策の取り組み状況

(4)完了した渋滞対策

Do : 対策実施

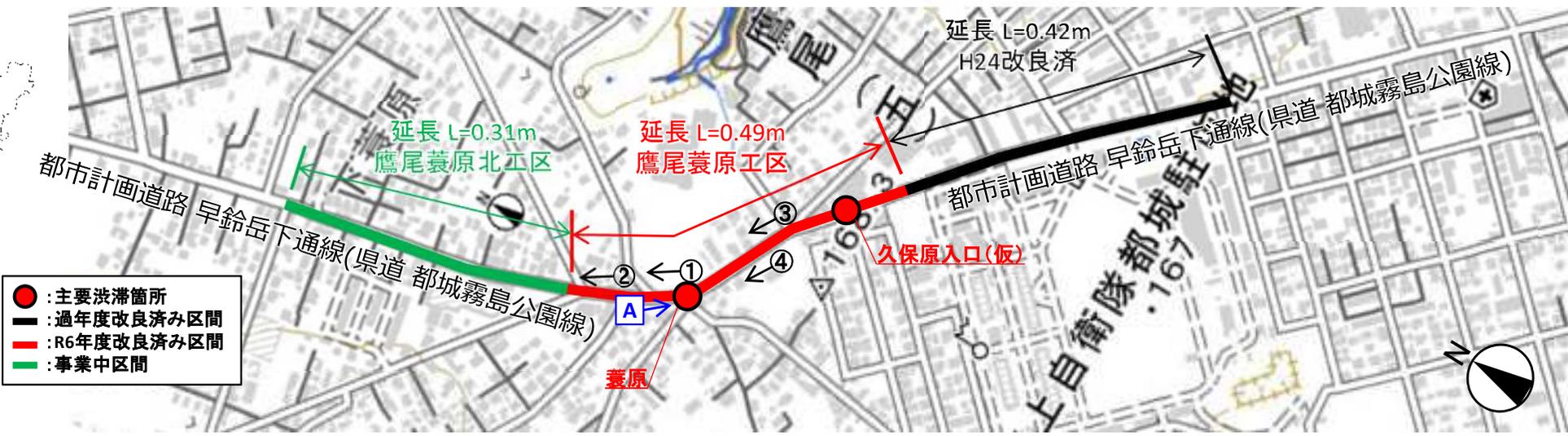
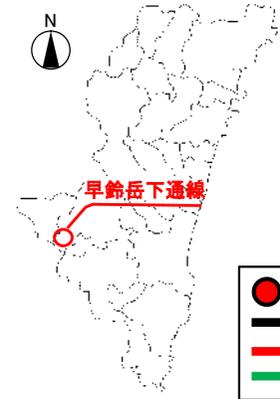
R7.3完了

宮崎県

■主要渋滞箇所 葦原交差点、久保原入口(仮)交差点 (都市計画道路 早鈴岳下通線(鷹尾葦原工区)(県道 都城霧島公園線))

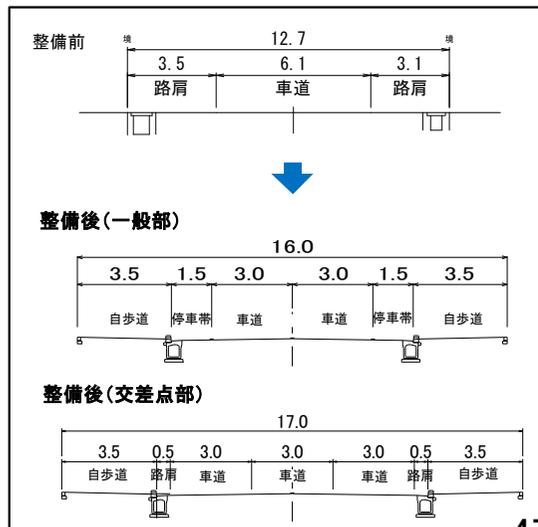
【渋滞要因】当該区間は、周辺の商業店舗利用者や通勤者による交通が集中し渋滞が発生
(交差点付近は線形が悪く、歩道もないため、走行性が悪いことも要因となっている)
【対策内容】線形改良により走行性が向上。また、右折車線の整備により直進障害も減少。

<位置図>



- : 主要渋滞箇所
- : 過年度改良済み区間
- : R6年度改良済み区間
- : 事業中区間

<交通状況>



4. 複数の管理者の協働による渋滞対策

(1) 県南エリアにおける「協働による渋滞対策」の進め方

○第1回 宮崎市周辺エリアワーキング部会にて、複数の管理者の協働による渋滞対策として、ソフト施策について議論した。

<開催概要>

■開催日時・場所

- ・開催日時: 令和7年7月16日(水) 14:00~
- ・開催場所: 宮崎河川国道事務所 別館3階会議室

■会議の様子



<主な内容>

<<共有>>

- ・県内の主要渋滞箇所の6割強を占める宮崎市街地の渋滞の特徴を確認し、『課題認識を共有』した。
- ・漫然とした渋滞対策ではなく、行政の方向性を出すために、本WGで目標とする渋滞対策の『ビジョン(案)を共有』した。

ビジョン(案)

宮崎市街地の渋滞緩和だけでなく、脱炭素や交通弱者（高齢者等）の問題解決にも寄与するソフト施策の推進

<<意見交換>>

- ・ソフト施策のメニュー、役割分担(旗振り役)について、これまでの検討経緯や今後の実現性等について、様々な意見を頂いた。
- ・今後、WGメンバー以外の関係部署にも課題を共有し、色々な視点で検討を進めていく。

4. 複数の管理者の協働による渋滞対策

(2) 県北エリアにおける「協働による渋滞対策」の進め方

○第1回 延岡市・日向市周辺エリアワーキング部会にて、複数の管理者の協働による渋滞対策の進め方について議論した。

<開催概要>

■開催日時・場所

- ・開催日時: 令和7年5月30日(金) 15:00~
- ・開催場所: 延岡河川国道事務所 3階会議室

■会議の様子



<主な内容>

《特定解除に向けて、基本的な取り組み方針の共有》

- ・県北エリアに残る主要渋滞箇所(29箇所)について、関係する道路管理者毎の基本的な取り組み方針(考え方・方向性)をリスト化し、エリアWGの場で情報共有を図りながら、協働による対策箇所の選定を進める。

《個別のピンポイント対策(素案)に関する意見交換》

- ・雷管通り交差点のコンパクト化(延岡河川国道・延岡市)
→〔延岡市〕市道の停止線位置が極端に後退している点について、過年度の経緯を報告(H11頃の改良事業・継続して経緯を調査、その他に出北交差点も継続調査)
- ・仙ヶ崎交差点の信号現示調整(延岡河川国道・日向土木・日向警察署)
→〔日向署〕5秒以内の範囲であれば可能性有り。ただし、南1.5km不動寺交差点までの範囲がエリア管制のため、他の箇所での影響・有無が懸念される。
→〔延岡河国〕情報提供頂いたエリア管制の現状を踏まえ、現地調査や試行運用に向けた協議と調査の実施に向け、関係3者が相談・協働の上で進捗を図りたい。

《ソフト施策(TDM施策)の検討・推進》

- ・過年度の渋滞協で報告している県北エリアでのソフト対策の最新情報や、新しい取り組みを行っている機関があれば内容について情報共有を図りながら、継続してTDM施策(案)をエリアWGの場で検討・調整を進める。

5. 都城道路の開通による交通影響(速報)

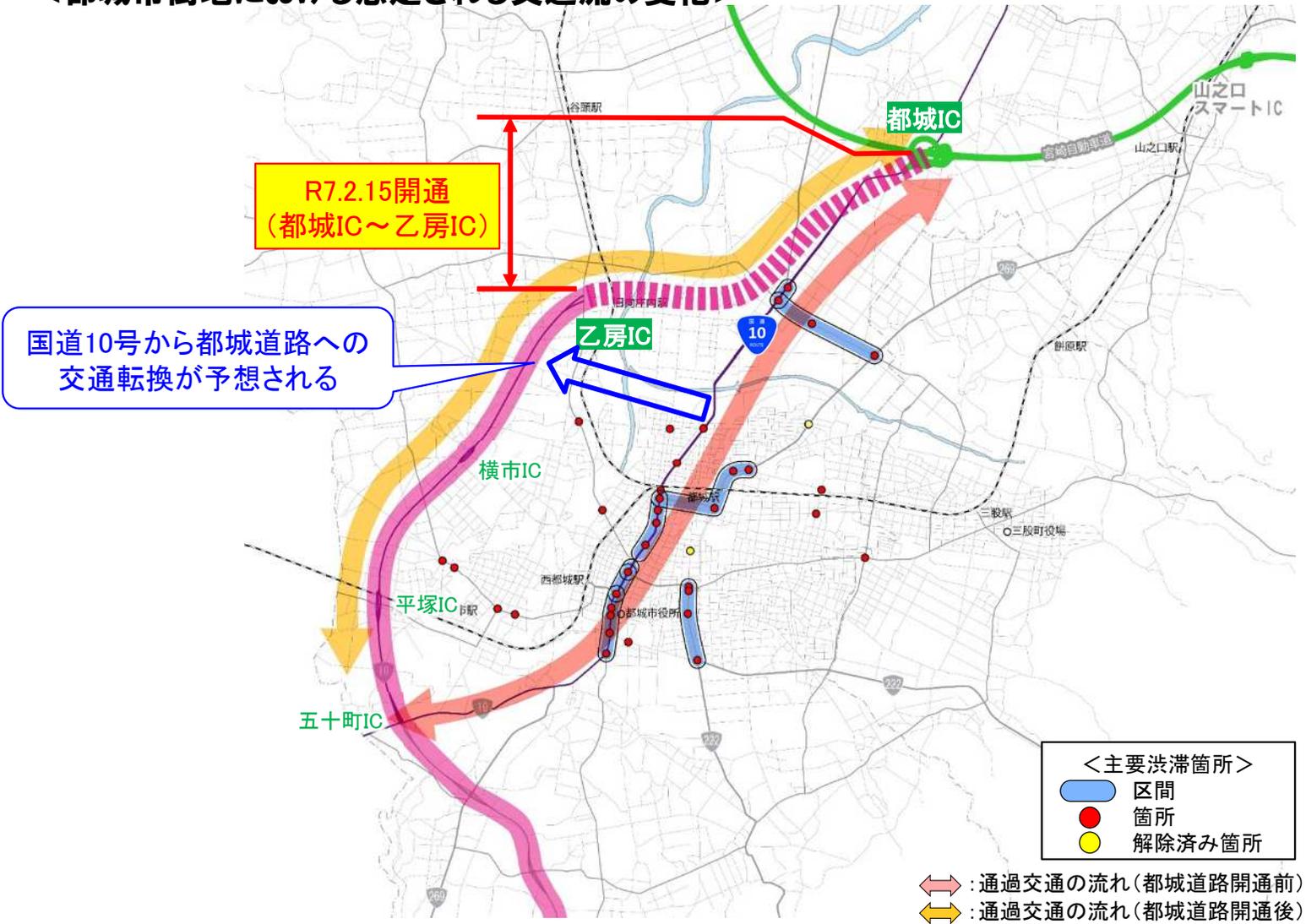
R7.2.15開通

宮崎河川国道

(1)概要

○自動車専用道路である都城道路(Ⅱ期){都城IC~乙房IC間(延長5.7km)}が、令和7年2月15日(土)に開通した。
 ○都城IC~乙房ICの開通により、都城市街地の通過交通等が、**国道10号から都城道路へ転換**すると想定される。
 ⇒開通1ヶ月後のデータを用いて、開通前後の交通状況の変化を確認した。

<都城市街地における想定される交通流の変化>



<都城道路の整備状況>

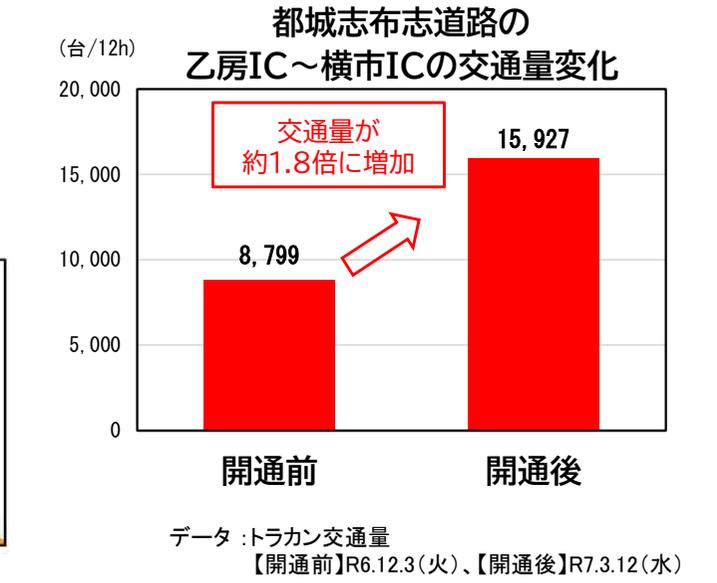
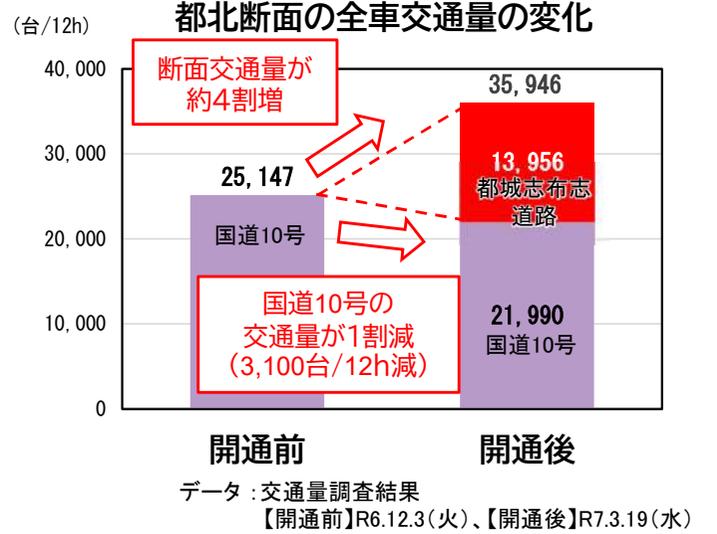


乙房IC側から都城ICを望む

5. 都城道路の開通による交通影響(速報)

(2)交通状況の変化 - 交通量の変化

- 都城道路 都城IC～乙房ICの開通後、都城道路と並行する国道10号の交通量は約1割減少した。
- 開通に伴い、隣接する乙房IC～横市IC間の交通量が開通前の約1.8倍に増加した。



5. 都城道路の開通による交通影響(速報)

(2)交通状況の変化 - 走行経路の変化

○断面A(都城IC南側)を南向きに走行する車両の走行経路について、断面①の走行車両割合を開通前後で比較すると、都城道路は約30%から約75%へと増加し、国道10号から都城道路へ交通転換が図られた。

※本結果はETC2.0車載車の経路を示すものであり、実際の交通量の比率とは異なる。

<断面A(都城IC南側)を南向きに走行する車両の走行経路図>



ETC2.0データ:【開通前】R6.3平日

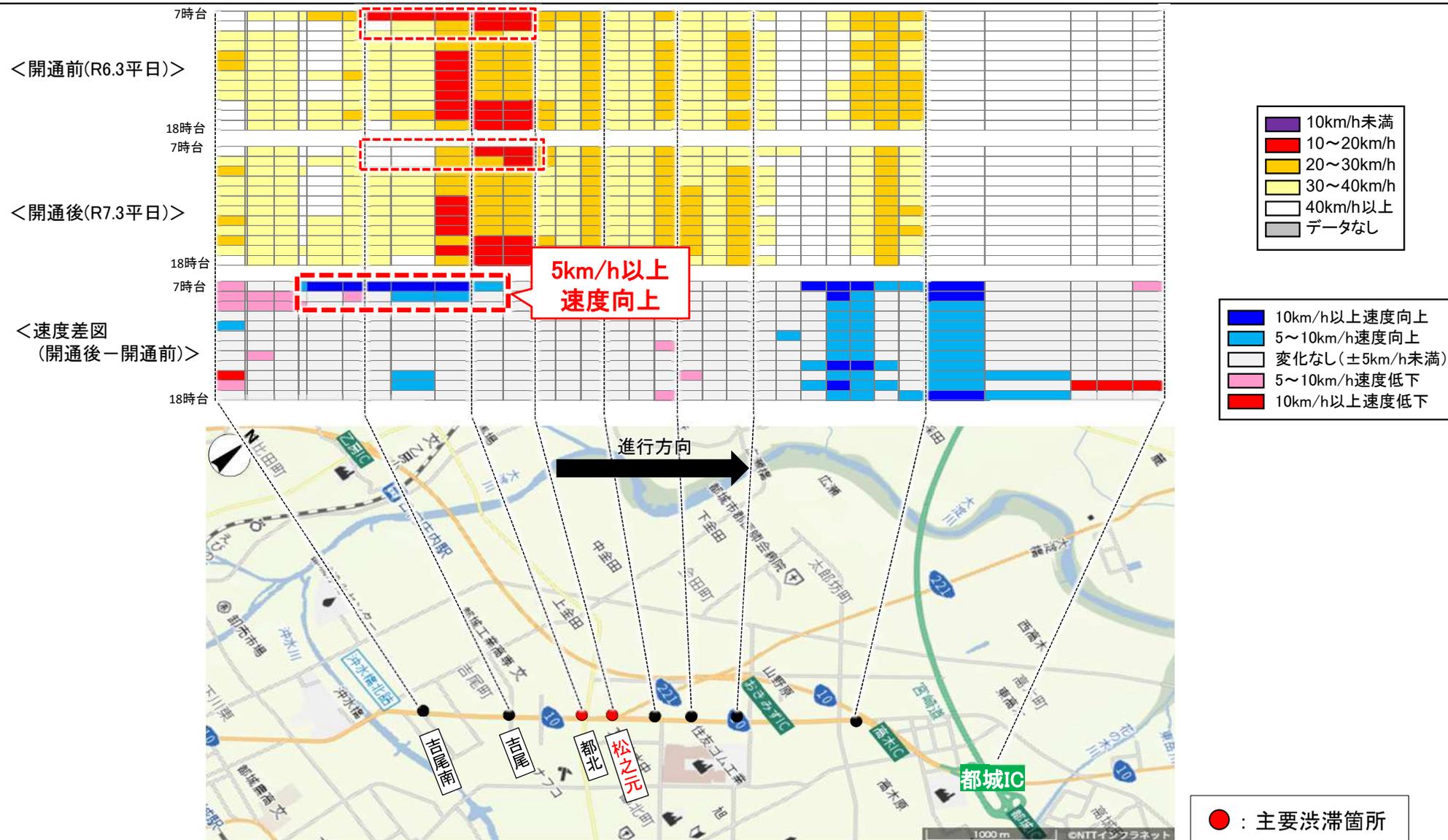


ETC2.0データ:【開通後】R7.3平日

5. 都城道路の開通による交通影響(速報)

(2)交通状況の変化 - 国道10号における平均旅行速度の変化(上り線(平日))

○開通区間と並行する国道10号(都城IC～吉尾南交差点)において、上り線の平均旅行速度の変化(平日)を見ると、朝ピーク時に松之元交差点から延びていた20km/h未満の速度低下区間について、開通後は速度低下区間の延長が短くなり、5km/h以上の速度向上している。



5. 都城道路の開通による交通影響(速報)

(2)交通状況の変化 - 国道10号における平均旅行速度の変化(下り線(平日))

○下り線の平均旅行速度の変化(平日)を見ると、朝夕ピーク時に都北交差点から延びていた20km/h未満の速度低下区間について、開通後は速度低下区間の延長が短くなり、5km/h以上の速度向上をしている。



● : 主要渋滞箇所

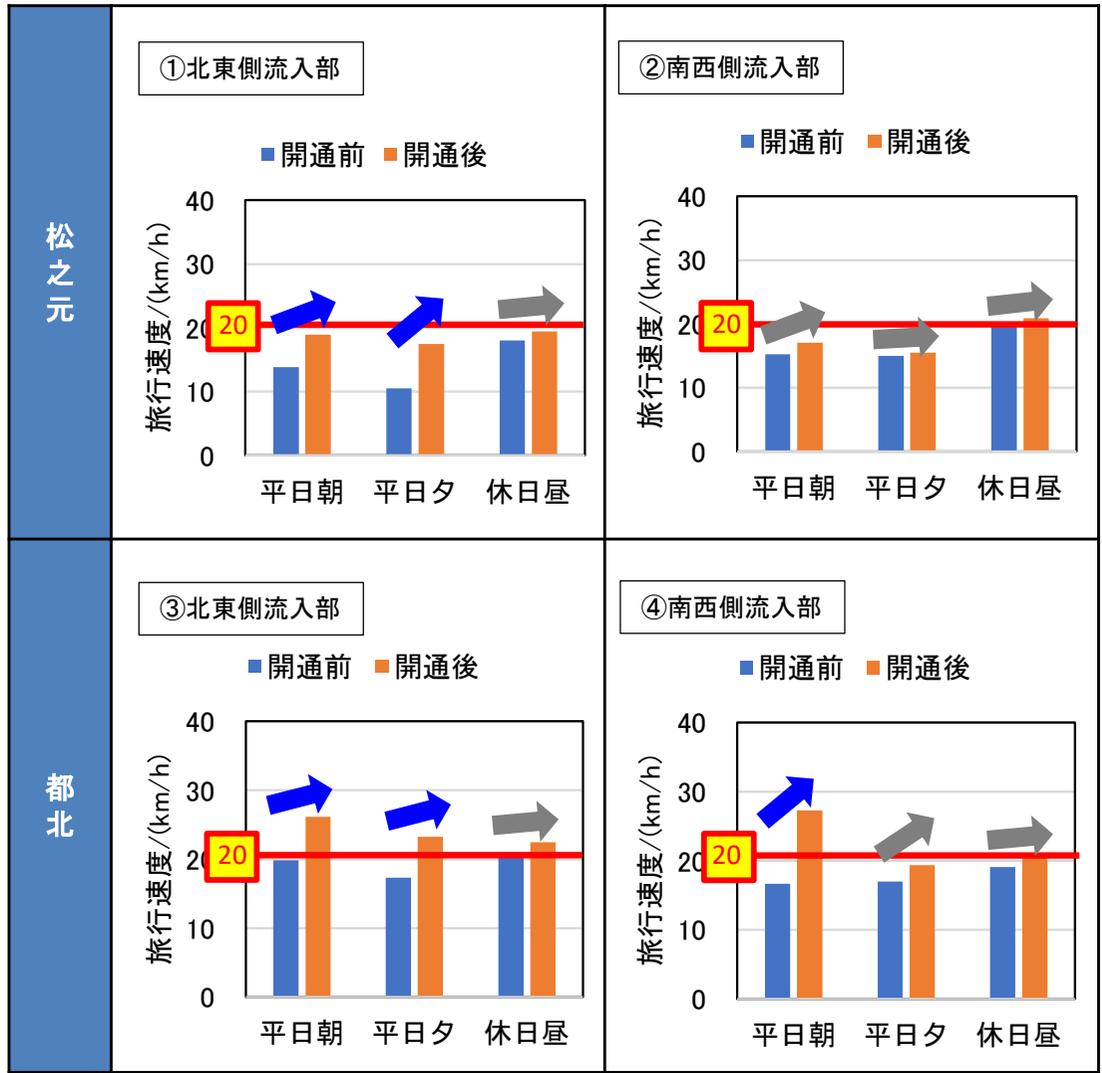


5km/h以上
速度向上

5. 都城道路の開通による交通影響(速報)

(2)交通状況の変化 - 主要渋滞箇所における平均旅行速度の変化

○松之元交差点、都北交差点の流入部において開通前後の平均旅行速度を見ると、全流入部において平均旅行速度が向上している。



ETC2.0データ：【開通前】R6.3、【開通後】R7.3
 平日朝：7-8時台平均、平日夕：17-18時台平均、休日昼：7-18時台平均

6. 県北地域における観光渋滞対策の対応状況

■宮崎県 高千穂町 国道218号

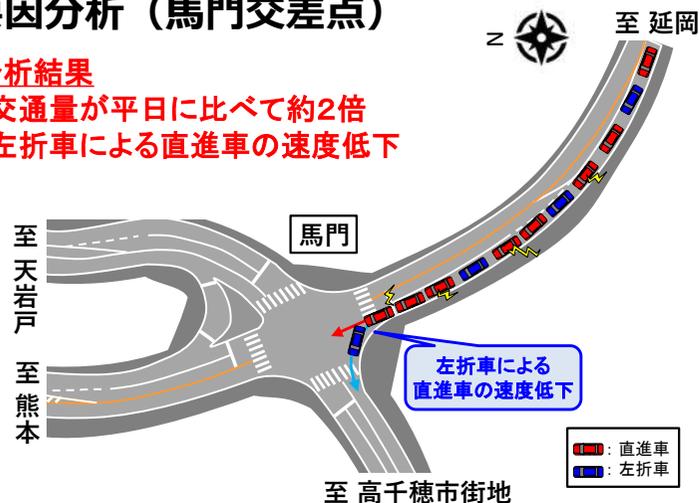
●対象エリア



■GW：令和6年4月27日(土)～5月6日(月)

●要因分析（馬門交差点）

- 分析結果**
- ・交通量が平日に比べて約2倍
 - ・左折車による直進車の速度低下



<今後の対策>

■駐車場の施設改修やリアルタイムの満空情報提供を実施予定



リアルタイム満空情報提供のイメージ



R6 渋滞協資料より

■まちなかへのアクセスとして経路分散を促す案内検討



要因分析

- ・ 国道218号は延岡市と熊本方面を連絡する幹線道路であり、宮崎県の主要観光地である高千穂峡周辺への観光交通等が集中し渋滞が発生
- ・ 主な渋滞要因としては馬門交差点に平日の約2倍の交通量が集中したこと、左折車による直進車の速度が低下したことなどがあげられる

対策の方向性（案）

- ・ 国道218号の観光渋滞対策として、高千穂町において、満空情報提供により時間分散をすること、看板設置による経路案内等により経路分散することなどを検討中
- ・ また、まちなかの渋滞対策としては、高千穂町において、駐車場の施設改修により駐車容量を確保すること等を検討中

7. 今後の進め方

- 最新の交通データを収集・整理し、主要渋滞箇所の交通状況のモニタリングを実施。
- 協議会およびワーキングにより、モニタリング結果等を有効に活用し、主要渋滞箇所の解除に向けて、地域毎の渋滞対策の検討を推進。

“交通渋滞対策協議会”による議論

- 最新の交通データによる渋滞状況の検証
- 地域の交通状況の変化等に対する専門的見地からの検証
- 主要渋滞箇所の解除の承認 等

“エリアワーキング”による議論

- 交通状況のモニタリング（主要渋滞箇所のフォローアップ）
- 地域の交通課題の共有
- ソフト・ハードを含めた具体的な対策の検討・調整
- 協議会で諮る主要渋滞箇所の解除候補箇所の選定 等